○取組の進捗状況(平成30年度集計表)

具体的	りな耳	対組の柱											実施	する	機関										
	事	項 具体的な取組	主な内容	目標時期	土浦市	石岡市	龍ケ崎市	鹿嶋市	潮来市	稲敷市	かすみがう	神栖市	行方市	鉾田市	小美玉市	美浦村	阿見町	河内町	利根町	香取市	町村圏事務組合稲敷地方広域市	茨城県	千葉県	気象庁	関東地整
1. /\-	ードオ	対策の主な取組																							
((1)湯	共水を河川内で安全	- ≧に流す対策																						
		①堤防整備	·無堤区間、堤防断面不足区間	引き続き実施																		0			0
		②波浪対策	•波浪対策対象区間	引き続き実施																					0
((2)退			の整備																					
		①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ 及び洪水時の状況を把握・伝達するため の基盤の整備	引き続き実施																		0			0
		②防災行政無線の改良、 防災ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良、防災ラジオ等の配布	H28年度から 実施	•	0	0	•	0	•	0	•	•	0	•		•		•	0					
		③水防活動を支援するための新技術を活用した水 防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	H28年度から 実施	•	0	0	•	Δ	Δ	0		0	•	0	•	•	0	0	•		0			Δ
		④簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	・水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置 ・POTEKAの設置	H28年度から 実施	0	•	0		Δ	•	•	•			•	•	•			•		0			•
		⑤浸水時においても災害 対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装 置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続する ための施設の整備及び自家発電装置等 の耐水化	H28年度から 実施			•			0										Δ					0
		⑥内水被害危険箇所の対 策	・移動式ポンプの増設等 ・消防車両ポンプの転用	H28年度から 実施	•	•	0	•	0	•	•	•	0	0	0	•	•			0		0			•
2. ソフ	ナシ 対	策の主な取組 ①	逃げ遅れゼロに向けた迅速が	いつ的確な避難	推行重	カのか	こめの	の取組	組																
((1)亿	広域避難を考慮した	ハザードマップの作成・周知	等																					
		①想定最大規模降雨によ る浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区 域図の公表	H28年度 H29年度(県)																		•			•
		②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの 公表	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュ レーションの公表	H28年度から 実施																		0			•
		③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策 定する	H28年度から 実施	Δ	Δ	•	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	0		0	Δ	0	0
		④広域避難を考慮したハ ザードマップの作成・周知 等	・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援	H28年度から 実施	•	•	•	•	Δ	0	0	0	0	Δ	0		Δ	0	•	0		•	Δ		0
		⑤まるごとまちごとハザー ドマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う	H28年度から 実施	Δ	Δ	0	•	Δ	0	0	0	Δ	Δ	0		Δ	0	0	0					
		⑥要配慮者利用施設の避 難計画の作成及び訓練の 促進	・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援 ・要配慮者利用施設において策定してい る避難計画の策定計画の中に水害も対 象として位置づけ、避難訓練等を支援す る	H28年度から 実施	0		0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0		•	Δ		0
((2)		上 着目したタイムラインの作成																						
		①避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地整、市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う	H28年度から 実施		•	•	•	•	•	•	•	•	0	0	0	•	•	•	0		Δ	0	Δ	0
		②タイムラインに基づく首 長も参加した実践的な訓 練	・トップセミナーの開催 ・自治体訓練に参加 ・図上型防災訓練のモデルの構築 ・実践的な訓練の実施	H28年度から 定期的に実施	0		•	0	Δ	0	0		0	0	0	0	0	0	0	Δ		0/	_	Δ	0
		③気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	・警報等における危険度の色分け表示・「警報級の現象になる可能性」の情報 提供 ・メッシュ情報の充実化	H28年度(試行) H29年度出水期か ら																	/			0	

注)県・気象庁・地整の実施状況は、 タイムラインの作成支援となっております。

具体的	内な取得	組の柱												実施	する	機関									
	事	項	主な内容	目標時期	土浦	石岡	龍ケ	鹿嶋	潮来	稲敷	かすみ	神栖	行方	鉾田	小美	美浦	阿見	河内	利根	香取	町村 圏 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	茨城	千葉	気象	関東
	ļ	具体的な取組			市	市	崎市	市	卡	市	っ 市 が う	市	市	市	玉市	村	町	町	町	市	務広 組域 合市	県	県	庁	地整
	(3)防	災教育や防災知識	戦の普及																						
		水災害に事前準備に関 る問い合わせ窓口の設 i	・問い合わせ窓口を設置する	H28年度から 実施	0	0	•	•	•	•	0	0	•	•	0	0	•		•	•		•		•	•
)水防災に関する説明会 開催	・市町村の要請により出前講座等を積極 的に行っていく ・実施について検討する	H28年度から 実施	0	0	0	0	Δ	0	0	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	0	0		Δ	0	•	Δ
	3	教員を対象とした講習会 実施	・市町村の要請により出前講座等を積極 的に行っていく ・実施について検討する	H28年度から 実施	•	Δ	0	0	Δ	0	Δ	0	0	0	0		Δ		0	Δ		Δ	•	•	0
)小学生を対象とした防災 な育の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極 的に行っていく ・実施について検討する	H28年度から 実施	•	0	0	0	Δ	•	Δ	0	0	0	0	0	Δ		0	0		Δ	Δ	•	0
	⑤ 講	出前講座等を活用した	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	H28年度から 実施							•											0	Δ	•	0
		プッシュ型の洪水予報等情報発信	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	H29年度	•	0	•	•	•	•	•	0	0	0	0	0	•	Δ		0		0			•
	⑦の供)情報をリアルタイムで提 も	・ホームページやスマートフォンなどに水 位計やライブカメラの情報をリアルタイム で提供する ・市公式サイトに川の防災情報をリンク 付けし情報共有している	H28年度から 実施	0	•	•	•	0	0	•	•	•	•	•	•	•			0		0			•
)許可工作物管理者への 5災教育の実施	・操作規則作成に必要な情報の提供及 び支援 ・履行検査における周知	H28年度から 実施	0	Δ		0	Δ	Δ	Δ	0	0	0	0	0	•			Δ		Δ			0
2. ソ	ナ対領	策の主な取組 ②	洪水氾濫による被害の軽減、	避難時間の研	住保0) <i>t=&</i>	ַ סק	k 防汗	5動0	り取糸	£ E														
			動の実施及び水防体制の強	化																					┕
		水防団等への連絡体制 再確認と伝達訓練の実 5	・情報伝達訓練等の実施	H28年度から 実施	•	0	•	0	0	•	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	2	水防団同士の連絡体制)確保	・連絡体制の確保	H28年度から 実施	•	•	•	•	•	•	Δ	•	•	•	0	0	0	0	0	0					
	九]する洪水に対しリスクが い区間の共同点検	・国が実施する重要水防箇所等の共同 点検に参加 ・人員不足、多くの対象箇所があること などから取り組み方法については、今後 検討していく必要がある。	H28年度から 実施	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
)関係機関が連携した実 カ水防訓練の実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・利根川水系連合水防演習に参加する	引き続き 定期的に実施	•	Δ	0	0	Δ	•	0	Δ	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	0
	⑤ る 定	水防活動の担い手とな 水防協力団体の募集・指 を促進	・団員による声かけやコミュニティーFM での募集 ・広報誌やホームページ等で募集してい	引き続き実施	0	Δ	0	0		•	Δ	0	Δ	0	0	0	0		0	0					
		地域の建設業者による 防支援体制の検討・構	・地域の建設業者を組み込んだ水防支援体制の構築	H28年度から 実施		Δ	•	•	•	•	Δ	•	•	•	0	0	•		•	•					
)内水被害危険箇所の把 選及び情報共有	・関係自治区との情報共有	H28年度から 実施	•	Δ	0	•	0	0	•	0	0	0	0	Δ	0		0	•		0	Δ		
2. ソ	ナント対領	策の主な取組 ③-	一刻も早い生活再建及び社会	会経済活動の	回復	を可能	能とす	するた	-හ σ.	排力	く活動)の耳	文組												
		水計画(案)の作品 排水機場・樋門・水門等の	艾及び排水訓練の実施																						_
	情討	がいる。 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がい、 がい、 がい、 がい、 がい、 がい、 がい、 がい	・作成に必要な情報の提供	H28年度から 実施	0	Δ	0	•	0	0	Δ	0	0	0	0		Δ			Δ		•	Δ	Δ	0
)排水計画に基づく排水 練の実施	・関係自治体が実施する訓練への参加	H28年度から 実施	0	Δ	0	•	Δ	•	Δ		Δ	Δ	0		Δ			Δ		•	Δ	Δ	0
)内水被害危険箇所の排 (計画(案)の作成	・作成に必要な情報の提供	H28年度から 実施	0	Δ		0	Δ	0	Δ	0	0	0	0		Δ			Δ		Δ	Δ	Δ	Δ

				関東:	地整				気象庁			●:実施済み、		茨城県					千葉県		
事項	内容	実施内容		期間 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容	実施	期間	H30年度実績	実施状況	実施内容		期間完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		期間完了	H30年度実績	3
対	 策の主な取組		<u> </u>	元」				<u> </u>	元」				<u> </u>	元」				1 宿于	元」		1
	水を河川内で安全に流す対	生																			
(1)17	のでは、一つのでは、	・無堤区間	-H29年度	+-	・基盤整備:北浦0.11km	0						・流入7河川における河川改修			・流入7河川において掘削・築	0	・県管理区間では予定なし				
	①堤防整備	·堤防断面不足区間	·H28年度	_	(H29:北浦0.3km実施) ・(H28堤防嵩上げ1.0km実施)	Δ						の実施【継続実施】	り継続実 施	以降継続 実施	堤・橋梁改築・用地取得等を実 施した						
	②波浪対策	·波浪対策対象区間(約14km)	•H28年度	・H32年度	*波浪対策:北浦右岸1.0km下田905m (H29波浪対策0.9km実施) (H28波浪対策3.6km実施)	0															
(2)追	難行動、水防活動、排水活	動に資する基盤等の整備	Ħ																		
		・雨量、水位、風向風速等の観 測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整 備を実施していく		•H32年度	・水文観測機器の更新、H28水文データの照査・水門水質DB登録	0						・雨量、水位、風向風速等の観測データ及び洪水時の状況を 測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整備を実施していく。	•H28年度	•H32年度	・CCTVカメラを新設。	0	・県管理区間に施設なし				
	②防災行政無線の改良、防災ラジ オ等の配布																				
	③水防活動を支援するための新技 術を活用した水防資機材等の配備	・新技術(水のう等)を活用した 資機材等の配備	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ						・今後、水防資機材の補充・追 加等の際には、新技術を活用し た水防資機材による配備充実 を図る。	•H28年度	•H32年度	・各出先事務所へ新技術(水の う)を配布し、訓練時の活用に ついて指導を実施	0	・配備予定なし				
	④水位計や量水標、CCTVカメラ等 の設置	・量水標、カメラの設置	•H28年度	・H29年度	▼ ・簡易水位計23箇所設置 ・(H28CCTVカメラ5基更新実施)	:						・カメラの設置	-H28年度	・H32年度	・水位計の増設工事を実施中。 CCTVカメラを設置し画像の配信を実施	0	・県管理区間で設置予定なし				_
	⑤浸水時においても災害対応を継 続するための施設の整備及び自家	・自家発電装置等の耐水化	・H28年度	•H32年度	t ・(H28自家発装置の耐水化設計実施)) 0						・県庁舎は浸水想定区域外					・県管理施設で予定なし				
	発電装置等の耐水化 ⑥内水被害危険箇所の対策	・移動式ポンプの増設等	•H28年度	・H28年度	・潮来出張所に排水ポンプ車2台、波崎・土浦・鉾田・麻生出張所に過般式	•						係機関と情報の共有化を図って	•H28年度	H32年度	・水害統計調査により, 市町村 との情報共有を図った	0	・予定なし				
	⑤内小板音ル陝固所の対東				排水ポンプを各1台配置済み							ι κ 。									
項			T ###		地整				気象庁	T				茨城県					千葉県		
リリ	内容	実施内容		短期間 <u></u> □ 完了	— H30年度実績	実施状況	実施内容	美施: 着手	期間	H30年度実績	実施状況	実施内容		頭間 │ 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容	手 着手	期間完了	H30年度実績	
>対	乗の主な取組 ①逃げ遅れせ	・ でロに向けた迅速かつ的研	確な避難れ	う動のた	めの取組																
1)戊	- 「域避難を考慮したハザード [、]	マップの作成・周知等																			
, ,								1													
	①相中皇士坦塔隆帝に トス温 北相	・想定最大規模降雨による浸水	·H28年度	·H28年度	*H28.8.18想定最大規模降雨による浸水規定区域図の公表	•							·H29年度	-H29年度	・指定17河川について、見直し及び新担公表を実施	•	・県管理区間での予定無し				
	①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水	-H28年度	•H28年度		•						・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表	•H29年度	•H29年度	・指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施	•	・県管理区間での予定無し				
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表				•						想定区域図の公表									
	定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表	: ·H28年度	・H30年度	水想定区域図の公表 E・氾濫シミュレーションの公表	•						想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討	•H28年度	・H30年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	0	・県管理区間での予定無し				
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び	: ·H28年度	・H30年度	水想定区域図の公表	•	・作成に必要な情報の提供およ び策定を支援	·H28年度	・H32年度		0	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び	•H28年度	・H30年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における	0		・H28年度	-H32年度	・内閣府「首都圏における大規模水害広域游難検討会」での	規)
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表	: ·H28年度	・H30年度	水想定区域図の公表 1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	・作成に必要な情報の提供およ び策定を支援	→H28年度	•H32年度	・鬼怒川・小貝川広域避難検討 会に参加(水戸地方気象台)	0	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定	•H28年度 •H28年度	•H30年度 •H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定 (潮来市、稲勢市、香	0	・県管理区間での予定無し	•H28年度		模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集)
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び	: ·H28年度	・H30年度	水想定区域図の公表 E・氾濫シミュレーションの公表 E・北28.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市	•		•H28年度	•H32年度		0	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	•H28年度 •H28年度	•H30年度 •H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H292「大規模水害時における 広域避難の連携に関する協定 (開来市、稲敷市、神橋市、耆 取市)」への資料提供等 ・(広域避難・随機打フーキン	0	・県管理区間での予定無し	•H28年度		模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 討組織の設置及び検討・情報) It
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び	: ·H28年度	・H30年度	水想定区域図の公表 1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•		-H28年度	•H32年度		0	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市南村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理	•H28年度 •H28年度 •H29年度	•H30年度 •H32年度 •H29年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H292「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定(潮来市、稲敷市、神秘市、香取市)」への資料提供等・(広域避難計画検討ワーキンググループを設置し、広域避難計画検がラーキンググループを設置し、広域避難計画を設備が下ラインを作成)	•	・県管理区間での予定無し	・H28年度		模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内) I相
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	·H28年度 ·H28年度	•H30年度 •H32年度	水想定区域図の公表 E・氾濫シミュレーションの公表 E・氾濫シミュレーションの公表 E・H28.6浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市町村へ提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援	•	び策定を支援	•H28年度	•H32年度			想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び ・作成に必要な情報の提供及び ・市町村が広域避難計画を策定 するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成	•H28年度 •H28年度 •H29年度 •H30年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・旧292「大規模水害時における 広域避難の連携に関する協定 (湖東市、稲敷市、神橋市、省 取市)」への資料提供等 ・(広域避難前画検討フーキン ググルーブを設置し、広域避難 計画策定がドラインを作成) ・市町村の広域避難計画策定を 支援	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供			模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 討組織の設置及び検討・情報 共有	日日
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	·H28年度 ·H28年度	•H30年度 •H32年度	水想定区域図の公表 E・氾濫シミュレーションの公表 E・H28.8浸水想定区域図の提供・氾濫シミュレーションのデータを各市町村へ提供・水郷4市 広域避難協定の取組支援 ・・H28.8浸水想定区域図の提供・・氾濫シミュレーションのデータを各市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		び策定を支援	-H28年度	·H32年度			想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び ・作成に必要な情報の提供及び ・市町村が広域避難計画を策定 するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成	•H28年度 •H28年度 •H29年度 •H30年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定(謝来市、報節市、神稽市市 取市)」への資料提供等・「広域避難計画検討ワーキンググループを設置し、広域避難計画策定がイドラインを作成)・市町村の広域避難計画策定を	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供		•H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 討組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での	財服
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び	· H28年度 ✓ · H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度	水想定区域図の公表 1・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・2・		び策定を支援	•H28年度	•H32年度			想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定 するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び	•H28年度 •H28年度 •H29年度 •H30年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定(謝来市、報助市、神橋市市番取市)」への資料提供等・(広域避難計画検討フーキンググループを設置し、広域避難計画策定がイドラインを作成)・市南村の広域避難計画策定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供		•H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報	1 規 規 1
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び	· H28年度 ✓ · H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度	水想定区域図の公表 1・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		び策定を支援	-H28年度	•H32年度			想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定 するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び	•H28年度 •H28年度 •H29年度 •H30年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定(謝来市、報助市、神橋市市番取市)」への資料提供等・(広域避難計画検討フーキンググループを設置し、広域避難計画策定がイドラインを作成)・市南村の広域避難計画策定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供		•H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内村 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内村) 村 規) 村
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマッ	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び	· H28年度 ✓ · H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度	水想定区域図の公表 1・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		び策定を支援	-H28年度	·H32年度			想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定 するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び	•H28年度 •H28年度 •H29年度 •H30年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定(謝来市、報助市、神橋市市番取市)」への資料提供等・(広域避難計画検討フーキンググループを設置し、広域避難計画策定がイドラインを作成)・市南村の広域避難計画策定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供		•H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報) 村 規) 村
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤波るごとまちごとハザードマップ	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び	F -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		び策定を支援	-H28年度	·H32年度			想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定 するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び	-H28年度 -H29年度 -H30年度 -H28年度 -H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定(潮来市、部本市・各市市・1、の資料提供等・・(広域避難計画策定がイドラインを作成)・市町村の広域避難計画策定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域図の提供 ・市町村担当課への説明会開	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内科 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有	の 対 根 規 の 対 限 一 一 一 文
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤波るごとまちごとハザードマップ	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	F -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1-128.6浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.6浸水想定区域図の提供 ・水郷2市 広域避難協定の取組支援 1-128.6浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・現主催の説明会に参加 ・HM周知についての説明会実施		び策定を支援	•H28年度	-H32年度			想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定 するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	-H28年度 -H29年度 -H30年度 -H28年度 -H28年度	-H32年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度 -H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定(潮来市、部本市・各市市・1、の資料提供等・・(広域避難計画策定がイドラインを作成)・市町村の広域避難計画策定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域図の提供 ・市町村担当課への説明会開	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報) 村長 規) 村長 一 一 一 一
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公教 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	F -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		び策定を支援	*H28年度	-H32年度			想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定 するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	-H28年度 -H29年度 -H30年度 -H28年度 -H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H292「大規模水害時における広域避難の連携にありる協定 (開来市、稲敷市、神橋市、香取市)への資料提供等 ・(広域避難向連携に広域避難・ 計画策定がドラインを作成。 ・市町村の広域避難計画策定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域 図の提供 ・市町村担当課への説明会開 ・・避難確保計画の策定等に関する施設等は	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 市町村防災課長や担当者にえ し説明会や防災体制向上のた) 村長 規) 村長 一 一 一 一
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	F -H28年度 F -H28年度 F -H28年度 F -H28年度 F -H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度	水想定区域図の公表 1- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・関東地方整備局、県、市町村			会に参加(水戸地方気象台)		想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	 +H28年度 +H29年度 +H30年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H30年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H292「大規模水害時における広域避難の連携にありる協定 (開来市、稲敷市、神橋市、香取市)への資料提供等 ・(広域避難向連携に広域避難・ 計画策定がドラインを作成。 ・市町村の広域避難計画策定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域 図の提供 ・市町村担当課への説明会開 ・・避難確保計画の策定等に関する施設等は	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	-H32年度 -H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内科 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会及び検討・情報 共有 ・市町村防災課長や担当者に対 し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施) 村長 規) 村長 一 一 一 一
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫 シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	F -H28年度 F -H28年度 F -H28年度 F -H28年度 F -H28年度	-H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度	水想定区域図の公表 1-128.6浸水想定区域図の提供・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	び策定を支援			・タイムラインの策定にあたって の助言に係る資料等は整って いる。 ・石岡市のタイムラインに助方 表おこなっている。(水戸地方気	Δ	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び	 +H28年度 +H29年度 +H30年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H30年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H292「大規模水害時における広域避難の連携にある場合、関係のでは、対象が、神橋市、者取市、神橋市、者取市の大田・一大田・一大田・一大田・一大田・一大田・一大田・一大田・一大田・一大田・一	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	-H32年度 -H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内科 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会及び検討・情報 共有 ・市町村防災課長や担当者に対 し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施) 村長 規) 村長 一 一 一 一
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 難勧告の発令に着目したター ①避難勧告の発令に着目したター	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 第定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び (全) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	→ H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度	-H30年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・県主催の説明会に参加 ・HM周知についての説明会実施 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・児監シミュレーションの検討	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・関東地方整備局、県、市町村と協同し、東定を支援	•H28年度	•H32年度	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。 ・石岡市のタイムラインに助 青 素 おこている。 (水戸地方、水田市の東京には、水田市の東京には、水田市の東京には、水田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田	Δ	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	 +H28年度 +H29年度 +H29年度 -H30年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定(湖来市、福敷市、神橋市、香取市)への資料提供等・(広域避難・油馬(水)・一方を設置し、広域避難・計画策定がトラインを代数・・市町村の広域避難計画、年前では、大型発動で、大型発動で、大型を受け、大型を使い、	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	-H32年度 -H32年度	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会及び検討・情報 共有 ・市町村防災課長や担当者に対 し説明会や防災体制向上のためのヒアリングなどを実施 ・水位情報等を提供)
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 建難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・トップセミナーの開催	→ H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度	-H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・児濫シミュレーションののでテクを各市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・関東地方整備局、県、市町村と協同し、東定を支援	•H28年度	•H32年度	・タイムラインの策定にあたって の助言に係る資料等は整って いる。 ・古岡市のタイムラインに助言 をおこなっている。(水戸地方気 象台)	Δ	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作面付が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供 ・問東地整、市町と協同し、策定 を支援 ・ 回車型防災訓練のモデルの構築	 +H28年度 +H29年度 +H29年度 +H28年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H38年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H292「大規模水害時における広域避難の連携にある。 「翻来市、福敷市、神橋市、香取市が、の資料提供等・、(加速・一型を設置し、広域避難・画策庁、一型を設置し、広域避難・画策定を支援・指定17河川の浸水想定区域図の提供 ・市町村担当課への説明会関係・避難を保証・経験のの提供 ・市町村担当課への説明会関係・避難を定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域図の提供 ・市町村担当課への説明会関係・避難を定を支援 ・指定17河川の浸水想定区域図の提供 ・市町村からの策定等に関する施設の提供の4か所で開催) ・市町村からの策定支援の要請なし	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上配国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・市町村防災課長や担当者に対 し説明会や防災体制向上のた りのヒアリングなどを実施 ・水位情報等を提供 ・利根川水系連合総合水防濱 で ・水位情報等を提供)
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 難勧告の発令に着目したター ①避難勧告の発令に着目したター	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 第定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び (全) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	→ H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度	-H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・関東地方整備局、県、市町村と協同し、東定を支援	•H28年度	•H32年度	・タイムラインの策定にあたって の助言に係る資料等は整って いる。 一名岡市のタイムラインに助言 をおこなっている。(水戸地方気 ・現時点において支援作業は生 ・7/1 龍ケ崎市 洪水時情報伝	Δ	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	 +H28年度 +H29年度 +H29年度 +H28年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H38年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・IH292「大規模水害時における広広域避難の連携で表示した。 (周東市、福敷市、神橋市、香取市)への資料提供等・(広域避難前画策計の一十2)がクループを設置し、広域避難前画策定がラインを作り、一次を設置し、広域避難前画策定がラインを表して、「大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大	•	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	 +H32年度 +H32年度 +H32年度 +H32年度 	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 市町村防災課長や担当者に し説明会や防災体制向上のた めのヒアリングなどを実施 ・水位情報等を提供)
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤妻配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 難勧告の発令に着目したタイムラインに基づく首長も参加 ②タイムラインに基づく首長も参加	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・トップセミナーの開催	→ H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度	-H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・児濫シミュレーションののでテクを各市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・関東地方整備局、県、市町村と協同し、東定を支援	•H28年度	•H32年度	・タイムラインの策定にあたって の助言に係る資料等は整って いる。 一名岡市のタイムラインに助言 をおこなっている。(水戸地方気 ・現時点において支援作業は生 ・7/1 龍ケ崎市 洪水時情報伝	Δ	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作面付が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理 したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供 ・問東地整、市町と協同し、策定 を支援 ・ 回車型防災訓練のモデルの構築	 -H28年度 -H29年度 -H29年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H30年度 ・H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難強速機所である。 「湖来市、海南市、李楠市、李楠市、李楠市、李楠市、李林の大学を設置し、広域避難、1000000000000000000000000000000000000	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	 +H32年度 +H32年度 +H32年度 +H32年度 	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・水位情報等を提供 ・水位情報等を提供) 移 関 り 移 対 た 間 調 ・
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤妻配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 難勧告の発令に着目したタイムラインに基づく首長も参加 ②タイムラインに基づく首長も参加	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・トップセミナーの開催	→ H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度	-H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・児濫シミュレーションののでテクを各市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・関東地方整備局、県、市町村 と協同し、東定を支援 ・自治体訓練への参加や支援 ・警報等における危険度の色分	•H28年度	•H32年度 •H32年度	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。(水戸地方気象 合いる。)・石岡市のタイムラインに助言をおこなっている。(水戸地方気象合)・現時点において支援作業は生い7/1服ケ崎市、洪水時情報伝道・資産といる。(水戸地方気象合)	Δ	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・修開東地整、市町と協同し、策定を支援 ・図上型防災訓練のモデルの構築 ・図上型防災訓練の実施支援	 -H28年度 -H29年度 -H29年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H30年度 ・H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の選集所で、神報市、神報市、神報市、神報市、神報市、中報市の変更が、「成域避難・計画策定が、「公域・工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	 +H32年度 +H32年度 +H32年度 +H32年度 	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・水位情報等を提供 ・水位情報等を提供) 検 見 検 対た 対た 実験
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 詳難勧告の発令に着目したタイムラインの作成 ①混雑勧告の発令に着目したタイムラインの作成 ②タイムラインに基づく首長も参加した実践的な訓練 ③気象情報発信時の「危険度の色	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・トップセミナーの開催	→ H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度	-H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・児濫シミュレーションののでテクを各市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		び策定を支援 ・関東地方整備局、県、市町村 と協同し、策定を支援 ・自治体訓練への参加や支援 ・警報等における危険度の色分けた。 ・影報級の現象になる可能性」	•H28年度	•H32年度 •H32年度	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。 ・石岡市のタイムラインに助言をおこなっている。(水戸地方気 ・祖時点において支援作業は生 ・7/1 龍ケ衛市 洪水時情報伝 達演習に参加(水戸地方気象 台)	Δ	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・修開東地整、市町と協同し、策定を支援 ・図上型防災訓練のモデルの構築 ・図上型防災訓練の実施支援	 -H28年度 -H29年度 -H29年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H30年度 ・H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の選集所で、神報市、神報市、神報市、神報市、神報市、中報市の変更が、「成域避難・計画策定が、「公域・工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	 +H32年度 +H32年度 +H32年度 +H32年度 	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・水位情報等を提供 ・水位情報等を提供) 検 見) 検 対た コーニー 実施
	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 難勧告の発令に着目したタイムラインの作成 ②タイムラインに基づく首長も参加した実践的な訓練	・想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・トップセミナーの開催	→ H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度 → H28年度	-H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	水想定区域図の公表 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・水郷4市 広域避難協定の取組支援 1-128.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションのデータを各市 町村へ提供 ・児濫シミュレーションののでテクを各市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・関東地方整備局、県、市町村 と協同し、策定を支援 ・自治体訓練への参加や支援 ・警報等における危険度の色分け表示	•H28年度	-H32年度 -H32年度	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。 ・石岡市のタイムラインに助言をおこなっている。(水戸地方気象台)・現時点において支援作業は生き、7/71能ケ崎市、洪水時前級伝達演習に参加(水戸地方気象台)	Δ	想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・修開東地整、市町と協同し、策定を支援 ・図上型防災訓練のモデルの構築 ・図上型防災訓練の実施支援	 -H28年度 -H29年度 -H29年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 	・H30年度 ・H32年度 ・H29年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H32年度 ・H30年度 ・H32年度	及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・H29.2「大規模水害時における広域避難の選集所で、神報市、神報市、神報市、神報市、神報市、中報市の変更が、「成域避難・計画策定が、「公域・工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	-H28年度 -H28年度	 +H32年度 +H32年度 +H32年度 +H32年度 	模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 共有 ・内閣府「首都圏における大規模水害広域避難検討会」での 検討・情報収集 ・上記国検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・上記国検討会を受けた庁内 計土相 ・水位情報等を提供 ・水位情報等を提供) 検 別 検 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■(-):対象外またはH31年度以降実施

				関東均	也整				気象庁		_			茨城県				ていない	千葉県		
1月事	内容	実施内容		施期間 一完了	- H30年度実績	実施状況	実施内容		期間	H30年度実績	実施状況	実施内容		期間 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		班間 完了	H30年度実績	実施
(3	3)防災教育や防災知識の普及		ļ																		
	①水災害に事前準備に関する問い 合わせ窓口の設置		*H28年度	*H28年度	・「災害情報普及支援室」を設置、HP に掲載済み	•	・問い合わせ終ロの対応へのサポート	•H28年度	•H32年度	・問い合わせ窓口を設置しているが、現時点においてサポート は生じていない(水戸)	•	・問い合わせ窓口を設置する	*H28年度	•H28年度		•	・設置予定なし				
	②水防災に関する説明会の開催	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度	-H32年度	・H30.10神栖市及びH30.12行方市にて出前講座を実施。	C Δ	·関係機関と連携し、効果的な 対応を検討する	•H28年度	•H32年度	・関係機関と連携した防災対応を行うため、毎年出水期前に気象防災 連絡会を開催している(水戸) ・台風の接近に伴う影響や防災日 ・砂電音事頃について、台風的 ・砂電音事頃について、台風が ・大家を一切がいた。 ・地域とでは、大阪大阪・地域と限される。 ・地域と関係して、 ・地域と関係して、 ・地域と関係して、 ・地域と同じる。 ・地域と関係して、 ・地域と同じる。 ・地域と関係を関係して、 ・地域と同じる。 ・地域との、 ・地域との		・常陸川水門現地見学会に参加 か ・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく		•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続 (H28常陸川水門現地見学会に参加)	Δ	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度		·常陸川水門現地見学会に参加[H29]	C
	③教員を対象とした講習会の実施	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度	·H32年度	・潮来市延方小学校にて防災教育に 関する公開授業に他校教員が出席		・教育委員会と連携し、効果的 な対応を検討する	•H28年度	•H32年度	・学校に職員を派遣して、教員 を対象とした防災に関する講習 会を実施している	•	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく。	•H28年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度		・教員に対する講習会を実施 ・防災授業実践研修会において、 鉄子地方気象合の台長を 講師として初き、水災害を含む 様々な災害のメカニズムや対外 法の講話を行い、各学校においる の防災教育の推進を図る。 [H30]	; 処
	④小学生を対象とした防災教育の 実施	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度	•H32年度	・稲敷市で行われた防災教育を参考 潮来市延方小学校において防災教育 を実施		・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する	•H28年度	•H32年度	・小学校に職員を派遣して、防 災に関する講演を実施している (水戸) ・小学生による気象合の見学を 受けれれ、気象や防災に関して ・競ヶ浦河川事務所と茨城県の ・電ヶ浦河川事務所と茨城県の イ配数市教育委員会と連携で 行っている防災教育(稲敷市立 る(水戸)	•	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく。	*H28年度	•H32年度	- 一斉避難訓練時に防災教育を 実施	0	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	売
	⑤出前講座等を活用した講習会の 実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	•H28年度	•H32年度	・H29.8気象キャスターによる請演を実施 ・神栖市、行方市にて出前講座を実施		・関係機関と連携し、効果的な 対応を検討する	•H28年度	•H32年度	・市民講座等の催しに職員を派遣して、講習会を実施している	•	・要請により出前講座等を積極的に行っていく。 ・住民避難力強化事業(マイマップ、マイ・タイムラインの作成等)の開催			(行方市民生委員向け 2回) ・水害の危険性が高い箇所を有する16市町村で実施	_	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	•H28年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	売
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報 発信		•H28年度	-H29年度	・H28実施(H29.5プッシュ型配信開始)	•							•H28年度	·H32年度	・防災情報メール等の登録促進	0	・設置予定なし				
	⑦水位計やライブカメラ等の情報を リアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォン などに水位計やライブカメラの 情報をリアルタイムで提供する	•H28年度	-H28年度	・H28実施(ライブカメラの映像像提供 を2箇所から7箇所に増設)	•						・ホームページやスマートフォン などに水位計やライブカメラの 情報をリアルタイムで提供す る。	· H28年度	•H29年度	・CCTVカメラを設置し画像の配信を実施	•	・設置予定なし				
	⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	-操作規則作成に必要な情報の 提供及び支援 -履行検査における周知) •H28年度	-H32年度	・H24以降、樋管等の占用更新時に操作規則の策定について指導 ・履行検定はいて樋管等の施設管 理者に対しゲート閉め忘れによる危険 性等について周知							・要請により出前講座等を積極 的に行っていく。	•H28年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施予定なし				
	-対策の主な取組 ②洪水氾濫1		時間の確保 ▼	果のための	D水防活動の取組																
(1	1)より効果的な水防活動の実施 ①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施	■及び水防体制の強化 																			
	②水防団同士の連絡体制の確保																				
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同 点検	実施	·H28年度	·H32年度	・H29.6~7月に霞ヶ浦沿川13市町村で 共同点検を実施		・毎年、河川事務所が実施する 重要水防箇所等の共同点検に 参加していく	•H29年度	•H32年度	・霞ヶ浦・北浦共同点検・合同巡視へ参加	0	・人員不足、多くの対象箇所が あることなどから取り組み方法 については、今後検討していく 必要がある。	•H28年度	•H32年度	・河川事務所が実施する共同点 検に毎年参加している。 ・県管理河川において実施する 滅災対策協議会で、市町村と共 同した点検方法等について検 討を進める。	0	・国が実施する共同点検への参加	•H28年度	•H32年度	・国が実施する共同点検へ参加	ha C
	④関係機関が連携した実働水防訓 練の実施) ·H28年度	-H32年度	- H30.5土浦市水防訓練に参加 - H30.6霞ヶ浦地区水防訓練に参加 - H30.7潮来市消防団夏季訓練に参加		・水防管理団体が行う訓練への参加、支援	•H28年度	•H32年度	・国及び自治体が行う水防訓練 へ参加している(水戸)	•	・水防管理団体が行う訓練への参加	H28.5	·H32年度	・水防管理団体が行う訓練へ、参加した。	0	・水防管理団体が行う訓練への参加【毎年】	•H28年度		・水防管理団体が行う訓練へる 加 ・第67回利根川水系連合・総 合水防演習を実施	
	⑤水防活動の担い手となる水防協 力団体の募集・指定を促進																				
	⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築																				
	⑦内水被害危険箇所の把握及び 情報共有											・内水被害危険箇所に関して関係機関と情報の共有化を図っていく。		·H32年度	・水害統計調査により、市町村との情報共有を図った。	0	・関係自治体と情報共有していく	-H28年度	·H32年度	-実施に向けた取り組みを継続	<u>.</u> Δ
	対策の主な取組 ③一刻も早し		舌動の回	復を可能の	とするための排水活動の取組																
(1	1)排水計画(案)の作成及び排		: -H28年度	-H32年度	・排水計画(案)の基礎資料となる浸水	k O	・排水ポンプの設置個所の濯宅	・H28年度	・H32年度	・現時点において、作成への協	Δ.	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	-H29年度	・排水ポンプ車設置の参考とな	•	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	売 △
	①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成	まで行った排水計画(案)の作成			想定区域図、氾濫シミュレーション等を 作成	*	まで行った排水計画(案)の作成への協力			力作業は生じていない					る浸水継続時間を示した図面を作成した。						
	②排水訓練の実施	ち回りで実施する			・H30.7関東地整、自治体等による合同 排水訓練を実施		・自治体訓練への支援			・現時点において、訓練への支援作業は生じていない		の参加			・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練へ参加し、技術の習得をした。		・関係自治体が実施する訓練への参加				
	③内水被害危険箇所の排水計画	・作成に必要な情報の提供及び 支援	·H28年度		・H28.8浸水想定区域図の提供 ・氾濫シミュレーションの検討		・排水計画(案)作成への支援 	•H28年度	-H32年度	・現時点において、作成への協 力作業は生じていない	Δ	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	· H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	-H32年度	実施に向けた取り組みを継続	ē _ △

●:実施済み、〇:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■(-):対象外またはH31年度以降実施 項目 事項 内容 実施内容 H30年度実績 実施状況 実施内容 H30年度実績 実施状況 実施内容 H30年度実績 実施状況 H30年度実績 実施状況 着手 完了 ハード対策の主な取組 (1)洪水を河川内で安全に流す対策 ①堤防整備 ②波浪対策 (2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ①雨量·水位等の観測データ及び 洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備 ・H34年度・防災行政無線については、デジタル化に向けて業者との調整を行っている。
・情報伝達の手段の拡充とし ·H28年度工事契約済み ・既設アナログ波防災無線のデ・H28年度・H34年度 ・デジタル化に向けて情報収集 アナログからデジタルに切り ・防災行政無線はデジタル化へ・H28年 身体障害者手帳の交付を受け 一部のアナログ波防災無線 ·H28年度 ·H29年度 ・アナログからデジタルに切り 結え予定(H32年度は)実施・ 設計、H33→H34年度工事 (この期間は工事期間の為、アナログ無線とデジタル無線を同 時並行で稼動))。 ・防災ラジオについては防災無 線のデジタル化の後に検討を 行う ・防災行政無線はデジタル化へ 改良済み・身体障害者手帳の交付を受 けている聴覚障がいるアスは視 覚障がい者の属する世帯の代 表者に対し、音声放送や防災 行政無線の内容を見ることが できる、ディスフレイ機能があ る戸別受信機を無償で貸出を 実施 を、H28~H29にかけてデジタ ル化する 写体障害有手機の交付を受け でいる聴覚障がい者又は視覚 障がい者の属する世帯の代表 者に対し、引き続き音声放送や 防災行政無線の内容を見るこ 再送信子局1局整備済み 屋外拡声子局6局整備済み を行った
・検討委員会でデジタル化及び
戸別受信機による多重化に向けた方針を決定した ・情報伝達の手段の拡充として、『音声一斉配信サービス (登録をした電話番号に対し、 録音した音声を一斉にかけるもの)』の連用開始に向け、サー ビス提供事業所と提供合意し とができる、ディスプレイ機能か ある戸別受信機を無償で貸出 ②防災行政無線の改良、防災ラジ オ等の配布 ・水防団員の安全を確保するた・H29年度 ・H32年度 ・トランシーバーを2台配備 め、資機材等の充実を図る ・稲敷広域消防本部と連携しなから水防資機材等の配備を検討する・H28年度・H32年度・新技術を用いた水防資機材の情報取集については利根川水系連合・総合水防海習にお ・水防団(消防団員)の安全を 確保するための資機材の充実 を図った の情報取集については利根川 水系連合・総合水防演習にお いて、水防団員が水嚢を用いた工法に取り組み、また各河川 事務所が開催した水嚢工法現 地視察に参加するなど情報収 集に努めた ③水防活動を支援するための新技 術を活用した水防資機材等の配備 ・既存水位計を活用する。 ④水位計や量水標、CCTVカメラ等 の設置 ・POTEKA等の新規システム について導入を検討する ・POTEKA導入済み自治体に 対しての聞き取り調査を実施 ・POTEKAを市内5箇所に設 ・小貝川に簡易水位計設置を 国土交通省に要望している。 ・県管理河川に危機管理型水 位計設置を茨城県に要望す H28年度 ・H32年度 ・POTEKA等導入済み自治体 に対しての聞き取り調査を実 ・POTEKAの導入 ・庁舎・避難所は地区外のため 対象なし *H28年度 *H28.6.30に耐水対策として自 家発電装置のかさ上げを行っ た本庁舎 附属棟を新設した。 実施済み 庁舎が浸水想定区域外であり ・新庁舎における耐水対策とし て、自家発電装置のかさ上げ ⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家 発電装置等の耐水化 - 議永ポンプの保守点機の実施、水中 ポンプの爆発 - 常総市/開墾川の内水児監(平成29 年10月と観21号)を教訓に既存の分々 人子グの治園が買機計中 - 後ま駅間辺に内水児監防止用の貯留 情の整備十 - 後ま駅間辺に内水児監防止用の貯留 構の整備・ - 未定 内水被害が予想される地区へ、廃車した消防車両のポンプ度を接水ボンブとして準備する。(H28年度) 消防団が内水被害個所の対応を実施している ・内水ハザードマップを作成しており、局地的大雨等の発生 時に巡回・点検を実施 ・揚水機場の有効活用のほか、 危険箇所へ排水ポンプ(マンホールポンプ等)を導入する ・内水ハザードマップ作成済み・災害時の巡視を継続実施 ・排水ポンプを2台配備 消防団が内水被害個所の対応を実施 0 ⑥内水被害危険箇所の対策 石岡市 龍ケ崎市 項目 事項 内容 実施期間 着手 完了 H30年度実績 実施状況 実施内容 H30年度実績 実施状況 実施内容 H30年度実績 実施状況 実施内容 H30年度実績 実施状況 2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 (1)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水 想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 ・現在,小貝川・利根川洪水避 雑計画を策定中 ・鬼怒川・小貝川流域減災対策 協議会の中広域避難計画 (東)を策定する
・出28年度
・出28年度
・出28年度
・出3年度
・北3年度
・北3年度
・北3年度
・北3年度
・北3年度
・北3年度
・北3年度
・北3年度
・北3年度
・北3年間
・北3年 ・H32年度・実施に向けた取り組みを継続 ・協議会の中で広域避難計画 ・H29年度 ・H32年度 ・実施に向けた取り組みを継続 (案)を策定する 広域避難計画は未作成であ ・協議会の中で広域避難計画 ・H29年 ・H32年 実施に向けた取組みを継続 (案)を策定する 度 度 るが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れを含頭に置きつつ、新たな自治体との協定締結を検討する ③広域避難計画の策定 ・洪水ハザードマップの見直し 完了。区長への配布依頼及び 公民館、図書館、庁舎等、公共 施設への設置により、全戸を対 象に配布した。 ・想定最大規模降雨における 洪水を対象に、広域避難計画 を反映した洪水ハザードマップ を策定する *H30年度 *H30年度 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・開東地撃において、大規模氾・H29年度 ・H29年度・小月川・利根川の最新の浸水 濫想定区域見恵(後、洪水ハ ザードマップを策定 ・ ロードマップを策定 ・ マップ)を策定 ・ マップ)を発起し、全戸配布し ・想定最大規模降雨における 洪水を対象に、広域避難計画 を反映した洪水ハザードマップ の見直しをする ④広域避難を考慮したハザード マップの作成・周知等 マラノを見極し、主戸紅布し た。水ハザードマップ周知説明 会にて、ハザードマップの活用 方法について協議金関係者に 、市内の2世区(社文開地区、 長門地区)で地区防災計画の 策定を行った。 ・、JR佐賀駅近辺の一部の電 柱等に避難場所案内標識の整備を行った。 ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う H29年度 ・H32年度 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洪水浸水総地図の公表後、 整備に向けた検討を行う 29年度 ·H32年度 ・実施に向けた取り組みを継続 △ ・洪水浸水総地図の公表後、 ・H28年 度 度 度 ・今後県のモデル事業を取り入 れ、整備・拡充に努める。 ・地区防災計画策定に向け取 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 機を行った (権を行った ・要配慮者利用施設において 策定している避難計画の対象 災害の中に水害も対象として 位置付けた。 ・1428年度、29年度中に小貝川 迅速等に浸水が定区域内にある 介種施設、保育国等の事業 所に対する避難計画の説明会 ・要配慮者利用施設が作成した ・避難確保計画を直検し、水 害時のがないない計画の 作成を支援する。 プを参考に拡充予定 ・H29年度 ・H32年度 ・茨城県が主体となり、 該当 施設への水防法改正に関する 説明会を実施。それに連携し て避難計画作成等の窓口とな フを参与に払れて足 ・要配慮者施設において策定し ている避難計画の対象災害の 中に水害も対象として位置づ け、避難訓練等を支援 ・要配慮者利用施設において 策定している避難計画の中に 水害も対象として位置づけ、避 難訓練等を支援する ・要配慮者利用施設において 策定している避難計画の中に 水害も対象として位置づけ、避 難訓練等を支援する ・要配慮者利用施設の避難計 画の作成及び避難訓練の実施 ・浸水想定区域内に該当施設 ・水防法改正を基に、介護施 設、保育園、病院等に要配慮 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 者支援施設避難計画作成を依

				土浦市					ナロナ			●. 天肥舟が、	龍ケ崎市	Pを含む)、 Δ: 美胞に向け	11_4X 9	祖のでを神色が、 へ・天旭して		鹿嶋市	/. 対象/トよ/こは101千皮	タ 件 天 川
事項	内容	実施内容		期間	- H30年度実績	実施状況	実施内容		石岡市 期間 完了	- H30年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H30年度実績	実施状況	実施内容		期間 完了	H30年度実績	実施状況
[難勧告の発令に着目したタイ ①避難勧告の発令に着目したタイ	イムラインの作成 ・作成済み					・タイムラインの策定を行う	•H28年度	・H30年度	・霞ヶ浦, 恋瀬川に対応したタ イムラインを策定	:	・避難に着目した小貝川・利根川洪水タイムラインを策定し、	*H28年度 *H29年度	・避難に着目したタイムライン は小貝川・利根川に対応したも のを作成済み。H29年度は見	•	・水害対応チェックリストにより 避難等の判断基準は作成済	•H29年 度	•H30年 度	タイムライン作成済み。平成30 年度に地域防災計画の改定と 併せて策定。	0 •
	ムラインの作成	과 PH 웨 설 L / H 나 구 由 뉴 구 기 니	1100年年	1100/75 #	·····································		ル門付して中サッキフ し	山のケー	11007==			随時見直しを図る。	1100 0	直しを実施。		今後、タイムラインについても	1100/=	1100/5		_
(2)	②タイムラインに基づく首長も参加 した実践的な訓練	・水防訓練と併せて実施するよう検討	*H28年度	*H32年度	・水が削燥を毎年及美胞・・タイムラインに基づく実践訓練の継続実施	0	・水防訓練として実施できるよう検討する	*H30年度	*H32年度			・タイムラインに基づいた水防 訓練を6月5日に実施。7月5 日に検討会を実施。H28年度 中に整理をしていく ・H28年度に策定した小貝川・ 利根川洪水避難計画の検証を 行う。	•H28.6 •H28.6 •H30.2 •H30.2	(タイムラインに基づいたロールプレイングの避難行動実働型の実践的な水害対応の訓練を実施) ・小貝川・利根川洪水避難計画に基づいた図上型訓練を実	•	・地区防災訓練にあわせ実施する	度	度	・避難所運営訓練と合わせて 実施	0
5.	③気象情報発信時の「危険度の色 分け」や「警報級の現象」等の改善 (水害時の情報入手のし易さをサ ポート)											1170		に並った。石田工王町林と大						
(3)防	災教育や防災知識の普及																			
	①水災害に事前準備に関する問い 合わせ窓口の設置	・ケース(地域)ごとの問い合わせに対応できるよう、見本回答マニュアルを作成する	•H28年度	•H32年度	・窓口について内部調整を実施	0	・ケース(地域)ごとの問い合わせ窓口を明確にする	•H28年度	•H32年度	・窓口について内部調整を実施	0	・問い合わせ窓口を設置する	·H28年度 •H28年度	せ窓口を設置している。(平時 には市危機管理課で対応し、 災害対応時には窓口班による	•	・問合せ窓口を設置している。	*H28年 度	•H28年 度	・災害対応時には、交通防災 課、道路建設課、施設管理課 による対応としている	•
		・防災講演会等での実施を検 討する	•H28年度	•H32年度	・防災講演会, 自主防災訓練, 小中学校防災訓練, 地域防災 訓練等での説明を継続実施 (常陸川水門現地見学会に参	0	・地域防災訓練にて実施する	•H28年度	•H32年度	-南小学校、園部小学校での地域防災訓練で講話を実施	0	・9/1~9/8下館河川事務所(鬼 怒川・小貝川下流域大規模氾 濫に関する減災対策協議会と 連携し常総市水害に関するパ		対応としている) ・9/1~9/8下館河川(鬼怒川・小貝 川下流域大規模氾濫に関する減 災対策協議会)と連携し常総市水 害に関するパネルを展示 ・地域からの要望によるものを中	•	・実施に向けて検討する	•H28年 度	•H32年 度	・地域からの要望によるものを 中心に、出前講座の中で防災 全般についての説明会を実施 し、その中で水災害の説明を	
(2	②水防災に関する説明会の開催				h a)							ネルを展示予定 ・浸水想定区域対象地区にて マイ・タイムライン作成講座を 実施し、住民の自助意識を啓 発する。	*H29年度	・地域からの要望によるものを中 心に、出前講座の中で防災全般に ついての説明会を実施し、その中 で水災害の説明を行った ・小貝川・利根川の洪水浸水想定 区域対象地区(川原代地区・北文	0				行った。 ・小・中学校長及び高等学校長 ヘタイムライン作成の説明を実 施。 ・霞ヶ浦河川事務所の協力のも	•
					Bt ((-#t-th-th-0.1.4)		N2 1424 244 44 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4							間地区)にてマイ・タイムライン作 成講座を実施					と、豊津小学校での防災訓練 において、タイムライン作成講	
(3	③教員を対象とした講習会の実施	・例年、防災講演会への教員 の参加要請を行っている	*H30年度	*H30年度	・ 防災講演会に参加・ 学校職員を対象に防災資機材の操作訓練を実施・ 遅難所運営図上訓練の実施	•	・浸水恐定区域にある小学校を 対象に講習会を実施する。	*H29年度	*H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・市内変石中学校において、小 貝川水災害教育を実施予定。 その他、学校担当課と調整し、 実施を検討していく	*H28年度 *H32年度	(・小中学生への講習会を教員 も含め実施)	0	・浸水想定区域にある小学校を 対象に講習会を実施する	度	•H32年 度	・小学校からの要望によるものを中心に、説明会を実施し、その中で水災害の説明を行った	÷
@ \$	④小学生を対象とした防災教育の 実施	・小・中学校の防災訓練等に併せて、防災士等に協力を要請し、防災に対する講習等の実施を推進する	•H28年度	•H28年度	・小中学校防災訓練にて防災 士等も参加し、地域住民と連携 した訓練を実施		・市内小中高校を対象に出前 講座により実施する	•H28年度	•H32年度	・南小学校、園部小学校での地域防災訓練で講話を実施	0	・平成28年6月5日市内合同 防災訓練において、水戸気象 台の支援を受けて、防災教育 を実施		・市内小中学校を対象とした防 災教育を一部の学校で実施 ・市内一部の小中学校で実施	0	・浸水想定区域にある小学校を対象に実施する	*H28年 度	•H32年 度	・浸水想定区域にある小学校で、洪水等に関する防災教室 を実施	
Œ	⑤出前講座等を活用した講習会の											・市防災気象アドバイザー(委託)が市内小中学生に向けて								
j	実施																			
(E	⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報 発信	・広報誌等でのブッシュ型の洪水予報等の情報入手手段の周知を検討	•H28年度	•H28年度	・市報掲載し、情報の入手方法 を啓発する		・情報の入手方法について啓 発していく。	•H28年度	•H32年度	訓練や出前講座,防災研修会などで啓発	0	・広報車、防災行政無線、メール配信、エリアメールによって 発信 ・音声一斉配信サービスを導入	・H28年度 ・H29年度 ・H29年度	・広報車、防災行政無線、メール配 信、エリアメールによって発信。 ・小貝川・利根川にでブッシュ型 メール配信サービスを実施した。 ・音声一斉配信サービスを実施した。 上砂災害警戒区域住民に電話で 土砂災害警戒「報を発表した。		・広報車、防災行政無線、メール配信、ツイッター、フェイス ブック等によって配信。	*H28年 度	•H28年 度	・広報車、防災行政無線、メール配信、ツイッター、フェイスフック等によって配信。 ・ヤフー株式会社と災害時の協定を締結し、ブッシュ型の情報 発信による休制強化を図った。	4 ●
	⑦水位計やライブカメラ等の情報 をリアルタイムで提供	・ホームページで川の防災情報 等をリンク先で提供する	•H28年度		・減災対策協議会のリンクを設定する ・川の防災情報をリンクして情報提供を行なった。		・市公式サイトにて、川の防災 情報(水位及びライブカメラ映 像)をリンクして、情報を提供している	•H28年度	•H28年度	・市公式サイトにて、川の防災情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報提供を行った。	•	・市公式サイトにて、川の防災 情報のリンクを付し、情報を提 供している	*H28年度 *H28年度	・市公式サイトにて、川の防災 情報のリンクを付し、情報提供 を行った	•	・市公式サイトにて、川の防災情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報を提供している		•H28年 度	・市公式サイトにて、川の防災 情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報提供を 行った。	•
	⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討をする	•H28年度	・H32年度	・実施に向け内部検討中	0	*** *	•H29年度	・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・霞ヶ浦では該当なし				・国で行なう履行検査に合わせて実施する。	•H29年 度	•H32年 度	・許可工作物管理者への防災 教育の取組みについて、関係 機関と協議を行った。	
ト対策	の主な取組 ②洪水氾濫に	よる被害の軽減 避難時	間の確保に	 の <i>t-</i> めの:	 水防活動の取組															+
	り効果的な水防活動の実施		II) UV HE IA	1	71(0)7L 30(0)7L															+
G	①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施	・水防訓練に併せ伝達訓練を	•H28年度		・実施済み 消防団兼任のため、普段から 継続実施	•	・消防団が、水防団を兼務して おり、伝達の確認や実施につ いては、日頃の訓練や火災現 場等で行っている	•H28年度	•H32年度	・日頃の訓練や火災現場等に て実施	0	・消防団が、水防団を兼務して おり、伝達の確認や実施につ いては、日頃の訓練や火災現 場等で行っている	*H28年度 *H28年度	・消防団が、水防団を兼務して おり、伝達の確認や実施につ いては、日頃の訓練や火災現 場等で行っている	•	・消防団が、水防団を兼務して おり、伝達の確認や実施につ いては、日頃の訓練や火災現 場等で行っている	•H27年 度	•H32年 度	・連絡体制の再確認を実施	0
2	②水防団同士の連絡体制の確保				シーバーを配備済み		・連絡体制を確保する			・消防団として連絡体制確保済 み ・トランシーバーを2台配備	•			・各行動部長に携帯型無線機を配備した		・連絡体制について確保する	•H28年 度	•H28年 度	·各消防団に携帯型無線機を 配布済み。	
12	③水防団や地域住民が参加する 洪水に対しリスクが高い区間の共 同点検	要水防個所等の共同点検への 参加			・地域住民及び周辺自主防災会とともに河川堤防重要箇所の巡視に参加	•	要水防個所等の共同点検への参加			・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施		重要水防箇所等の共同点検に 参加していく		・毎年,河川事務所が実施する 重要水防箇所等の共同点検に 参加。		・河川事務所が実施する重要 水防個所等の共同点検に参加 する	度	度		0
(4)	4.関係機関が連携した実働水防	・毎年、消防本部主導の水防 訓練を実施	*H28年度	-H28年度	・毎年度実施済み	•	・実施の必要性を精査し検討する	•H29年度	+H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・各関係機関が連携し、タイム ライン(小貝川・利根川対応)に 基づいた避難行動実働型の水 害対応訓練を実施した ・H28年度に策定した小貝川・	*H28. 6	(・各関係機関が連携し、タイム ライン(小貝川・利根川対応)に 基づいた避難行動実働型の水 害対応訓練を実施) ・小貝川・利根川洪水避難計画		・現在、消防団員が水防活動を 兼務しており、消防団員の募集 については広報誌、団員による 声かけや広報誌、ホームペー ジ、コミニティーFM等で募集し	度	•H32年 度	・水防団を兼務する消防団員 の加入促進を促すための募集 広報を実施。新たに5名の女性 消防団員が入団となった。	Ę
ind.	訓練の実施											利根川洪水避難計画の検証を 行う。 ・国土交通省と連携してマイ・タ イムライン検証訓練を行う。	*H30年度 *H32年度	に基づいた図上型訓練を実施。(H30.2) ・国土交通省と連携して川原代地区にてマイ・タイムライン検証訓練を実施。	0	ていく。				
(§	⑤水防活動の担い手となる水防協 力団体の募集・指定を促進	・市のイベント等や各分団において募集活動の実施チラシの配布のぼり旗の作成	•H28年度	•H32年度	・市報等での募集の実施を検討	0	・実施の必要性を精査し検討する	*H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・消防団入団の募集広報を実 施	•H28年度 •H32年度		0	・現在、消防団員が水防活動を 兼務しており、消防団員の募集 については広報誌、団員による 声かけやコミニティー所を利用 した募集活動を実施済み	度	•H32年 度	・現在、消防団員が水防活動を 兼務しており、消防団員の募集 については広報誌、団員においては広報誌、団員に予解を利用 した募集活動を行い、新たに5 名の女性消防団員が入団と なった。	集 る 用
Œ	⑥地域の建設業者による水防支 援体制の検討・構築	・建設業協会との災害協定締 結済み					・実施の必要性を精査し検討する	*H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施を検討する	•H28年度 •H28年度	・市建築業組合との間で、風水 害等の応急対策を含む災害協 定を結んでいる ・市建設業組合に小貝川・利根 川洪水避難図上型訓練に参加 してものた		・体制について構築済み	•H28年 度	•H28年 度	・体制について構築済み	•
G fi	プ内水被害危険箇所の把握及び 情報共有		*H28年度	•H28年度	・内水ハザードマップ作成済み	•	・消防, 消防団, 警察等と共同で、内水等の危険個所マップを 作成し共有する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・担当課により点検を実施する	*H28年度 *H32年度	・担当課により点検や側溝等の 改修を行っており、また災害時 や平時に関わらず、必要な際 には危険箇所の共有を行う	0	・区長、消防署員や水防団(消 防団員)と情報共有、点検を実 施済		•H32年 度	区長、消防署員、消防団員や 地区代表者と情報を共有する ための点検を実施した	
小対策	その主な取組 ③一刻も早い	生活再建及び社会経済活	動の回復	を可能と	するための排水活動の取	!組														
[水計画(案)の作成及び排水 ①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成	・排水ポンプの設置個所の選	•H28年度	•H32年度	・計画策定を検討中	0	・検討する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・排水ポンプの設置個所の選 定まで行った排水計画(案)の 作成	*H28年度 *H32年度	・排水ポンプの設置個所の選 定まで行った排水計画の作成 に向け、市内排水機場の現場	0	・計画策定に向け関係機関と 協議中	•H28年 度	•H29年 度	・排水機場の運転に関する協 定を見直し、平成29年5月に 変更協定を締結した。	•
F	水害を想定した排水計画(案)を作成 (条)を作成 (条) (条) (条) (条) (条) (条) (条) (条) (条) (条)	水防訓練との同時実施を検討	*H29年度	•H32年度	計画策定を検討中	0	・検討する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・毎年、水防訓練と同様に各自 治体持ち回りで実施する	*H28年度 *H32年度	状況等の確認を行った。 ・排水訓練については各排水 施設管理者等が各々で操作確	0	・防災訓練と合同で実施している		•H28年 度		, •
ľ		・排水ポンプ等の設置箇所の 選定まで行った排水計画(案)	•H29年度	・H32年度	計画策定を検討中	0	検討する	•H29年度	・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	_		認等をしている		・計画策定に向け関係機関と	•H28年	·H32年	・計画策定に向け土地改良事 務所などの関係機関から意見	

											●. 天旭月0.				- H] <i> </i> - H	り組みを継続、×:実施	C C 0 1/4 0		/: 対象/トよ/こは101千尺	.以阵天旭
項目事項	[内容	実施内容	潮来市 実施期間 着手 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		稲敷市 期間 一完了	H30年度実績	実施状況	実施内容	実施	すみがうら 期間 □ 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		<mark>神栖市</mark> 期間 │ 完了	H30年度実績	実施状況
1. ハードネ	対策の主な取組																			
(1)	典水を河川内で安全に流す対	· 策																		
	①堤防整備																			
	②波浪対策																			
(2)	· 避難行動、水防活動、排水活	動に資する基盤等の整備																		
	①雨量·水位等の観測データ及び 洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備																			
	②防災行政無線の改良、防災ラジ 才等の配布	・防災無線の整備・改良を行う	•H28年度 •H32年度	・防災無線の改良(子局の更 新)	0	・防災無線デジタル化に伴う実施設計 ・防災無線(デジタル化)	•H27年度	•H30年度	・デジタル化への移行実施	•	・霞ヶ浦地区の防災行政無線デジタル化(H28年度〜H33年度)を進め、平成34年度には市内全域の防災行政無線をデジタル化する	•H28年度	•H34年度	H29年度デジタル親局(操作卓 整備実施済み H30年度屋外子局一部着手。 H32年度まで屋外子局整備計 画		・市内全域に防災行政無線屋 外拡声子局を整備済 ・防災ラジオを有償配布中	•H28年度	•H28年度	・防災ラジオを有償配布中	•
	③水防活動を支援するための新技 術を活用した水防資機材等の配備	めの資機材の充実を図る	・H29年度 ・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・水防団員の安全を確保するための資機材の充実を図る	·H30年度	•H32年度	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・より効果的な資機材の配備を 検討する	·H28年度	•H32年度	・予算化に向けた内部検討	0	-新技術を活用した水防資機材 等の配備	•H30年度	•H32年度		
	④水位計や量水標、CCTVカメラ等 の設置		・H29年度 ・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・POTEKAの設置	·H28年度	•H28年度	・超高密度気象観測POTEKAを 市内4カ所に設置	•	・県の設置状況を考慮しつつ必要であれば市でも設置を検討する	·H28年度	•H29年度	•H29年度POTEKA設置(市内 4カ所)	•	・水位計や量水標、カメラの整備	·H29年度	•H29年度	・(株)ウェザニューズへ水防対策 支援業務を委託しており、その 中で水位予測情報等の情報提 供を受けている。	·
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外であり 対象なし				・自家発電装置の耐水化を図る ・庁舎が浸水想定区域外であり 対象なし	•H29年度	·H32年度	・市役所支所・地区センターの 自家発電装置耐水化の対策を 検討	0	・庁舎が浸水想定区域外であり 対象外					・庁舎が浸水想定区域外であり 対象外				
	⑥内水被害危険箇所の対策	・水中ポンプの準備	・H28年度 ・H32年度	・建設業組合との応援協定により災害発生前に設置計画し、 H30年度は2回設置した	0	・重要危険個所については共同 点検等を計画予定・水防訓練等で水防工法実施	•H28年度	•H28年度	・近隣市町村との水防訓練実施。	•	・関係課とともに対策を検討する	•H28年度	•H28年度	・田伏地先に内水排水ポンプ 置済み	₩	・排水ポンプの整備	•H29年度	•H29年度	・昨年度及び今年度内水被害に備え水中ポンプを購入し、備蓄倉庫に配備した。	
	•						•	•		•								•		
			潮来市					稲敷市					すみがうら	市				神栖市		
項目事項	内容	実施内容	実施期間	H30年度実績	実施状況	実施内容		函期間 │ 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容	手 着手	期間	H30年度実績	実施状況	実施内容		函期間 □ 完了	H30年度実績	実施状況
 2. ソフト対		・ ゼロに向けた迅速かつ的確	な避難行動のため	 の取組																
(1),																				+ -
	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																			
	②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表																			
	③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画 (案)を策定する	·H28年度 ·H32年度	(H29.2水郷4市(潮来市、稲敷 市、神栖市、香取市)「大規模 水害時における広域遊難の連 携に関する協定」締結) - H31.1.24協定4市及び関係各 所とDIG訓練を行う。	0	・協議会の中で広域避難計画 (案)を策定する	•H28年度	•H32年度	・広域避難協定4市(潮来市、和 敷市、神栖市、香取市)におい て広域避難所(7箇所)を設定 (H29.2水郷4市(潮来市、稲敷 市、神栖市、香取市)「大規模 水害時における広域避難の連 機に関する協定)締結り		・協議会の中で広域避難計画を 策定するなど今後策定を検討 する	•H29年度	•H32年度	・予算化に向けた内部検討	0	- 広域避難計画の策定	•H28年度		H292に締結した水郷4市(湖 末市、稲敷市、神徳市、春取 市)「大規模水害時における広 域避難の連携に関する協定にし ついて水郷4市で協議を重ね、 避難場所を設定及び、マニュア ルを作成。	=
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等		-H29年度 ·H30年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	•H29年度	•H31年度	・最大浸水区域を反映した洪水 ハザードマップを作成、今後各 戸配布予定		・洪水浸水想定区域見直し後、 市のハザードマップの作成の際 に併せて検討		•H32年度	・予算化に向けた内部検討	0	・広域避難を考慮したハザードマップの策定	•H29年度	•H30年度	最大規模の浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップを今年度作成。H30、4月より行政 安を通じて全戸配布を実施予	
	⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	・H29年度 ・H29年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを検討中	0	・洪水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う	•H29年度	•H32年度	・予算化に向けた内部検討	0	・まるごとまちごとハザードマッ プ整備	•H29年度	•H32年度	・避難場所看板及び避難所誘導看板について検討	0
	⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する				・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを実施中	0	・浸水想定区域内に該当施設 なし					要配慮者利用施設の避難計画の作成及び避難訓練の実施	•H29年度	•H32年度	・H30年度改訂予定の地域防 災計画内で要配慮者利用施設 を明記するための検討を実施	t
(2)	⊥ 避難勧告の発令に着目したタ・	⊥ イムラインの作成																		+
	①避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・タイムラインの策定を行う	・H29年度 ・H29年度	霞ヶ浦・利根川下流について策 定	•	・タイムラインの策定を行う	•H29年度	•H29年度	・避難に着目したタイムラインを 作成	•	・タイムラインの策定を行う	•H28年度	•H28年度	・H28年度霞ヶ浦の洪水対策タイムライン作成	•	・避難勧告の発令に着目したタ イムラインの策定	•H29年度	•H29年度	・今年度タイムラインを作成	•
	②タイムラインに基づく首長も参加 した実践的な訓練	・ロールプレイング等の実践的 な訓練の実施する	・H29年度 ・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実践的な防災訓練のする	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを検討中	0	実践的な訓練を実施する	•H29年度	•H32年度	・訓練実施に向けた内部検討	0	・図上訓練等の実践的な訓練を 実施	•H30年度	•H32年度		
	③気象情報発信時の「危険度の色 分け」や「警報級の現象」等の改善 (水害時の情報入手のし易さをサポート)																			

	1			湖本士					拉斯士			●. 天旭계•		すみがう		1-1-11/1-4X	り組みを継続、 ×:美池	2 (0 %	神柄市	7.7.3条/でんだは101千尺	. 及四天池
項目事項	内容		宝旗	潮来市 ^{拖期間}		T		宝 油	<mark>稲敷市</mark> 期間		T			g みかつ! 期間		1		宝施	一种他巾 短期間		
70 77	1.75	実施内容		完了	- H30年度実績	実施状況	実施内容		完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		完了	H30年度実績	実施状況
(3)	 方災教育や防災知識の普及																				
		問い合わせ窓口を設置する	•H28年度	•H28年度	市役所総務課に設置	•	・設置を検討中。	·H28年度	•H29年度	・質問内容に応じた問合せ窓口	•	・設置を検討する	•H29年度	・H32年度	・設置について内部検討中	0	・問い合わせ窓口の設置	•H28年度	・H32年度	・質問内容を踏まえ, 担当部署	1 0
	①水災害に事前準備に関する問い									を担当部毎に設置										が個別に対応している。	
	合わせ窓口の設置																				
		・実施について検討する	•H29年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施について検討する	·H29年度	•H32年度	・行政区代表者等へ防災に対	0	・常陸川水門現地見学会に参	•H28年度	·H32年度			・国、県による出前講座等の開	·H28年度	•H32年度	・常陸川水門現地見学会に参	0
	②水防災に関する説明会の開催									する説明会を実施		加			災害(洪水と山津波)と題し、特 別企画展を開催(期間:	₹	惟			מת	
															H30.12.22~H31.3.10)						
		・浸水想定区域にある小中学校 を対象に講習会を実施する	·H29年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・浸水想定区域にある小学校を 対象に講習会を実施する	·H29年度	・H32年度	・実施に向けた取り組みを検討	0	・実施に向けて検討する	·H29年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	t 🛆	・国、県による出前講座等の開	·H29年度	•H32年度	・小学校をフィールドに筑波大 学から講師を招き震災に関する	z O
	③教員を対象とした講習会の実施	で対象に調白云で天肥りる					対 外に 調白 云で 天 肥 り 句			T							THE.			講演会を実施	اد
	④小学生を対象とした防災教育の	・実施について検討する	-H29年度	・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・浸水想定区域にある小学校を 対象に、実施について検討する	-H29年度	•H29年度	・市防災訓練にて、小学校等も 含めて、地域住民を含めた訓彩		・実施に向けて検討する	-H29年度	-H32年度	・実施に向けた取り組みを継続		・国、県による出前講座等の開催	-H29年度	-H32年度	・小学校をフィールドに筑波大 学から講師を招き震災に関する	
	実施						7,38,14, 7,88,14,7,0			を実施										講演会を実施	1
													山の左座	1100年度	11000004 7.7 +> ===================================	-					
	⑤出前講座等を活用した講習会の												-H29年度	-H30年度	・H30.6.24 みんなで防災マップをつくろう講座(佐賀地区)						
	実施														・H31.2.23 茨城県住民避難力協会事業(高倉・粟田地区)	וי					
														ļ							
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報	・実施に向けて検討する	-H29年度	・H29年度	各地区区長、民生委員児童委員、消防(水防)団員、市職員を	•	・実施に向けて検討をする	-H29年度	•H29年度	・広報車、行政防災無線、メー ル配信、エリアメール等により	•	・メール、ツイッター等による周知 やその他の方法を検討	-H29年度	-H30年度	・防災無線親局の発令判断シ テム整備に伴い、メール、市ア		・プッシュ型の洪水予報等の情報入手手段の周知	-H28年度	-H32年度	・緊急速報メールの配信に向け た検討を実施	<i>†</i> 0
	発信				対象とし防災に特化したメール					配信		M CO EO MA E IXE			プリ、ツイッターへ避難情報を		14277			/ CAUTE AND	
		中状にウリストシャフ	1100左座	山の左座	等配信サービスを整備		土 / ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	1100年年	山の左曲	取得ナナケーのいて 中部体		・ホームページで川の防災情報	1100左车	1100年年	信可能となる。	<u> </u>	± / e 2° 7 → 1 → 1 → 1	1100年中	1100年度	ナロスルけの名談なる。正様	
	⑦水位計やライブカメラ等の情報を	・実施に向けて検討する	-H28年度	*H32年度	・予算化に向けた内部検討	0	等をリンク先で提供する	*H28年度	-H32年度	・配信方法等について、内部検 討を実施	0	等をリンク先で提供する	-H28年度	*H28年度	中日Pへ殿ヶ浦減災対策協議: や川の防災情報をリンク	会	・ホームページ, スマートフォン やテレビなどに水位計やライブ	•HZ9平及	-H29年度	取用Pで水防災息減在芸 再情 築ビジョンへのバナーを貼って	
	リアルタイムで提供																カメラの情報をリアルタイムで提供			いる。	
		・実施に向けて検討する	*H20年度	*H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けて検討をする	*H20年度	*H39年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けて検討する	*H20年度	*H39年度	・実施に向けた取り組みを継続	た △	 ・操作規則の制定	.⊔20年度	■H32年度	・策定に向け内部検討中	0
	⑧許可工作物管理者への防災教	一大心に同じて挟討する	- HZ34-及	-11324段	一大心に同じた取り組みを継続		一大心に同じて検討をする	- 口25千皮	-1024皮	一大心に同じた取り組みを極め		一大心に向けて検討する	- 1123 年 及	- 円32年度	- 天旭に叫けた取り組みを秘約		・履行検査における周知		·H32年度	一束に同じ四种疾動中	
	育の実施																				
	 	- 1.7 地字のおば 1922世中	眼の地口	0+ 4 O	- 大叶江卦の四名																+
ソフト×J	策の主な取組 ②洪水氾濫に	-よる彼吉の蛭減、避難時	间の催休	(0) (20) (0).	水防活動の取組 																
(1)	kり効果的な水防活動の実施	及び水防体制の強化																			
			•H28年度	·H32年度	・防災無線を使用しての水防訓	0	・これまでにも水防訓練等で伝	•H28年度	•H28年度	・伝達訓練を実施	•	・水防訓練に併せ伝達訓練を実	-H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	ħ Δ	・水防団等への連絡体制の再	·H28年度	•H32年度		<u> </u>
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	伝達訓練を実施している			練実施放送を実施		達訓練を実施している					施していく					確認と伝達訓練の実施			実施	
	応とは圧削隊の大心																				
		・連絡体制を確保する	•H28年度	•H29年度	・消防系統で確保済み	•	・連絡体制は確保済	•H28年度	•H28年度	・消防・水防団として連絡体制を確保	•	・連絡体制を確保する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	t 🛆	・水防団同士の連絡体制の確	・H28年度	•H29年度	・小型無線機を各分団へ配備	•
	②水防団同士の連絡体制の確保									唯体							体			IAO	
					17 11 ± 76 = 7 . Nt = 11 = 1		V= 1.1 + 76 = 7.1					>= + 7b = c 10 + 15					>= = 75 = c 10 = 15			12 11 12 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	
	③水防団や地域住民が参加する洪	ル R 策 所 筆 の 井 目 占 栓 L 参 加	•H28年度	・H32年度	・河川事務所主催の共同点検 に参加	0	・河川事務所が実施する重要 水防箇所等の共同点検に参加	-H28年度	•H32年度	・H28.6河川事務所が実施した 重要水防箇所等の共同点検に		・河川事務所が実施する重要 水防箇所等の共同訓練に参加	・H28年度	-H32年度	H30.6.1共同訓練実施	0	・河川事務所が実施する重要 水防箇所等の共同点検に参加	・H28年度	・H32年度	・河川事務所の共同点検に参 加	0
	水に対しリスクが高い区間の共同	する			・茨城県河川課主催の出水期		する			参加		する									
		.利坦川北玄連合北陸湾羽に	.U20年度	.⊔20年度	前の点検に同行 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	·利根川水系連合水防演習に	.⊔20年度	.⊔20年度	・水防訓練を実施	•	毎年、消防本部主導の水防訓	・山20年度	.⊔20年度	U20.7.1治吐水吐制结宝体	0	・利根川水系連合水防演習へ	.⊔20年度	・U20年度	・水郷4末による水味制練の実	Δ
	④関係機関が連携した実働水防訓	参加する	-11234段	-1132年度	- 大心に同じた取り組みを秘が		参加する	- 口25千皮	•H30年度			練を実施	1120年度	- 1132年度	130.7.1/月阴水阴副脉关爬		の参加	- 口23千段	-1132年度	施について調整	
	練の実施	・広域水防訓練の実施					・広域水防訓練の実施			・広域避難協定4市において、 広域連携図上訓練を実施	•						・関係機関と連携した広域水防 訓練の実施				
		 -広報誌やホームページ等で募	•H30年度	·H32年度			- 広報誌・ホームページ等で募	•H29 年度	•H29年度	・水防団を兼務する消防団員の		広報誌やホームページ等で募	·H29年度	·H32年度	実施に向けた取り組みを継続	ħ Δ		·H28年度	・H32年度	・ポスターの掲示やイベントでち	5 0
	⑤水防活動の担い手となる水防協						集していく			加入促進を実施し、団員を募集		集していく			74,61 -1 71,741,11 74 <u>21,7 C4</u> 21,7	-	防協力団体を募集			らしを配布	
	カ団体の募集・指定を促進									した											
		・実施を検討する	•H28年度	·H28年度	・既存の災害応援協定で対応	•	・実施を検討する	•H29年度	•H29年度	・担当課で個別に災害時協定	•	実施を検討する	·H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	ħ Δ	・建設業者と災害時における応	・H23年度	•H23年度	・H23年度締結済み	•
	⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築									等で対応							急復旧に関する協定の締結済				
	体制の検討・博栄																				
			•H29年度	·H32年度	・内水被害危険箇所の調査を	0	・水防団等と情報共有、点検を	·H29年度	•H32年度	・水防団等と情報共有や危険個	0	・水防団等と情報共有、点検を	·H28年度	•H28年度			・水防団等と点検を実施し、内	•H28年度	·H32年度	・点検実施に向け内部検討中	0
	⑦内水被害危険箇所の把握及び 情報共有	(17)			実施		िंग र			所の点検等を行う		(כדוֹ			防団に参加をいただき、情報す 有を図った。	₹	水被害危険箇所の把握及び情 報共有				
	ПНТИЛС П																				
ソフト対	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 生活再建及び社会経済活	動の回復	夏を可能と	するための排水活動の取	組															
/414	まれ計画(安)のよせながせる	/訓練の実施											1			1					1
(1)1	非水計画(案)の作成及び排力 		1 1100 5- 5-	1100 ====	町方の「AR ナモに供こ!ナ		±△=1-+ 7	1100 ====	1100 ====	원교# <u>라</u> #	 	計画体白の投引されて	1100 7- 1-	1100 =====	中长1-514 平1403 大学	<u> </u>	・排水ポンプの設置筒所を選定	1100 ====	1100 =====	作さらかはあかかきよ	+
	①排水機場・樋門・水門等の情報共		*H29年度	•H32年度	既存の「台風・大雨に備えた事 前行動計画」の一部見直しを実		・検討する	·H29年度	•H32年度	・計画策定を検討中	0	・計画策定の検討を行う	•H29年度	・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続		・排水ボンブの設置箇所を選定 した排水計画(案)の作成	·H28年度	•H32年度	*TF水に向け内部検討中	0
	有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成	成する。			施											1					
		・ 防災訓練と合同で実施する投	•H20年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災訓練と合同で実施する	•H20年度	-H20年度	・消防団の訓練と併せて実施	•	・計画に基づく排水訓練の実施	•H20年度	・H32年度	・実体に向けた取り組みた継続	ħ Δ	・防災訓練と合同で実施	•H30年度	•H32年度		
	②性北側はの実性	計を行う	1123年及	1102十段	スポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			1123年段	1123年茂	/5例四の副派と所にて失肥		を検討	1123年段	1102年度	- 大川川一門ハルスツ州4ケで配利	` _		1100年度	1102年度		
	②排水訓練の実施															1					
		・排水ポンプ等の設置箇所の選	-H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・検討する	·H29年度	•H32年度	計画策定を検討中	0	・計画策定の検討を行う	•H29年度	・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	ŧΔ	・排水ポンプの設置箇所を選定	•H28年度	・H32年度	作成に向け内部検討中	
		定まで行った排水計画(案)の	1		- 100 1777 - 100 7 mm 7 mm 7 mm 1916	-							····································		100/12-10 / 1940 / 2 相互制	· -	した排水計画(案)の作成		7/3		0
	(案)の作成	11年成														1					
	1				I .		1						1			_1			1		_

●:実施済み、〇:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■(-):対象外またはH31年度以降実施

			行方市		_		鉾田市			●: 吴旭湃の	小美玉市		- H () / E A.	以り組みを継続、 ×∶実施	美浦村	- /: 対象がまたは⊓31年度	以阵天师
項目 事項 内容			西期間 L20年度宝績	実施状況	実施内容		期間	H30年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H30年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H30年度実績	実施状況
 1. ハード対策の主な取組		直	完了			直	完了			2 332 3 33	着手 完了				着手 完了		
(1)洪水を河川内で安全に流す対	<u> </u> 策																
(1) (1) (1) (1) (1)																	
①堤防整備																	
②波浪対策																	
 (2)避難行動、水防活動、排水活動	<u> </u> 動に資する基盤等の整備																
①雨量・水位等の観測データ及び 洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																	
②防災行政無線の改良、防災ラジ オ等の配布	る	・H28年度	・H28.3.31 ・防災行政無線、メルマガ、ア放送等の情報伝達方法の便性を向上・H28.10.29 ・市内全域においてエリア放を開設)利	・防災行政無線のデジタル化	•H29年度	•H32年度	・防災行政無線のデジタル化 (継続中)	0	・防災行政無線のデジタル放送 への移行 ・戸別受信機全戸配布済み	·H29年度 ·H30年度 ·H28年度 ·H28年度		•	・H30年度以降を目標に防災行政無線(同報系)の設置を検討している	·H30年度 ·H32年度		
③水防活動を支援するための新技 術を活用した水防資機材等の配備	・非常用電源車の検討 ・消防団の装備の基準改正に	•H29年度	・H32年度 ・非常用電源車の検討 ・H30年度 ・装備を拡充	0	・水防団員の安全を確保するための資機材の充実を図る	•H28年度	•H32年度	・デジタル簡易無線機を配備	•	・資機材の充実の検討	・H28年度 ・H32年度	・資機材の備蓄・購入	0	・水防団員の安全を確保するための資機材の充実を検討する	・H28年度 ・H29年度	・ライフジャケット40着の購入	•
④水位計や量水標、CCTVカメラ等 の設置	・国や県が設置している既存の 設備を活用する				・国や県が設置している既存の設備を活用する					・カメラを設置する	・H28年度 ・H28年度	・カメラ設置済み	•	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水する地域に監視カメラを設置する	・H28年度 ・H28年度	・監視カメラを設置	•
⑤浸水時においても災害対応を継 続するための施設の整備及び自家 発電装置等の耐水化	・各庁舎は浸水想定区域外				・庁舎が浸水想定区域外であり 対象なし					・庁舎が浸水想定区域外のため対象無し				・庁舎が浸水想定区域外			
⑥内水被害危険箇所の対策	・資機材リース会社との災害応 援協定による対応	•H28年度	・H32年度 ・台風接近時に、溢水想定態に3回、延べ8基の排水ポン設置		・既設排水ポンプの点検及び新 規整備箇所の検討	•H28年度	•H32年度	・内部危険箇所の点検を実施	0	・県警と協力しマップ作成中	・H28年度 ・H32年度	・県警と協力しマップ作成中	0	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水する地域の対策を検討	・H28年度 ・H28年度	・設置済みの土のうステーションの点検及び交換を実施	•
	1			-	1	·I				1	1	1		1	1	1	
項目 事項 内容		宝 ケ	行方市 西期間 1000年中央標			宝松	鉾田市 期間		1		小美玉市 実施期間				美浦村 実施期間		
X1 7X 13T	実施内容		完了 H30年度実績	実施状況	実施内容		完了	- H30年度実績	実施状況	実施内容	着手 完了	- H30年度実績	実施状況	実施内容	着手 完了	H30年度実績	実施状況
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼ	「口に向けた迅速かつ的確	な避難行	動のための取組														
(1)広域避難を考慮したハザードマ	マップの作成・周知等																
①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表																	
②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表																	
③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画 (案)を検討する	•H29年度	・H32年度 ・検討継続	0	・協議会の中で広域避難計画 (案)を策定する	•H29年度	•H32年度	- 検討継続	0	・協議会の中で広域避難計画 (案)を策定する	·H28年度 ·H32年度	・広域避難計画(案)を検討	0	・協議会の中で広域避難計画 (案)を策定する	·H28年度 ·H32年度	・稲敷広域組合構成市町村に り災害時相互応援協定(広域選 難含む)を締む・ ・稲敷広域消防本部圏内市町 村広域避難計画を策定(今後、 個別計画を策定予定)	壁
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する		·H30年度 ·検討継続	0	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取組を継続・ハザードマップを改訂した※広域避難はなし	0	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	・H28年度 ・H32年度	・想定最大規模降雨における 水を対象に、広域避難を反映し た洪水ハザードマップの策定を 検討する	_	・想定最大規模降雨における決水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する			
⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	·H29年度	- H32年度 ・取組を継続	Δ	・洪水浸水総地図の公表後, 設置に向けた検討を行う	•H29年度	•H32年度	実施に向けた取組を継続	Δ	置に向けた検討を行う。		・洪水浸水総地図の公表、設置 を検討。		・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う。	·H30年度 ·H32年度		
	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	•H29年度	・H32年度 ・検討継続	0	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、情報提供及び避難訓練等を支援する	•H29年度	•H32年度	・地域防災計画への掲載を検討する	0	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、情報提供及び避難訓練等を支援する。【H29年度~】	-H29年度 -H32年度	・引き続き情報提供・支援を実施	0	·要配慮者利用施設が浸水想 定区域外。			
(2)避難勧告の発令に着目したタイ	・ イムラインの作成																
①避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・策定済み	•H27年度	・H28.3 ・避難指示(緊急)、避難準値 高齢者等避難開始に名称変		・タイムラインの策定を行う	•H29年度	•H32年度	・タイムライン(案)を作成した	0	・タイムラインの策定を行う	・H29年度 ・H32年度	・策定に向け内部検討中	0	・タイムラインの策定を行う	-H28年度 -H32年度	・策定に向け内部検討	0
②タイムラインに基づく首長も参加 した実践的な訓練	・実践的な訓練を実施する	•H29年度	・H32年度 ・想定訓練を検討	0	・ロールプレイング等の実践的 な訓練の実施する	•H29年度	•H32年度	・訓練方法等の内部検討	0	・ロールプレイング等の実践的 な訓練の実施する	·H29年度 ·H32年度	・訓練方法について内部検討中	Þ O	・ロールプレイング等の実践的な訓練の検討	·H28年度 ·H32年度	・訓練方法について内部検討	0
③気象情報発信時の「危険度の色 分け」や「警報級の現象」等の改善 (水害時の情報入手のし易さをサ ボート)																	

				行方市					鉾田市			● . 火		小美玉市	一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	101717724	り組みを継続、 ×∶実施 ▼	2 (0 %0	美浦村	/: // 水/ な/こは1101 十/	及外件人
頁目 事項	内容	実施内容	実施	地期間	- H30年度実績	実施状況	実施内容	実施	期間	H30年度実績	実施状況	実施内容		西期間	H30年度実績	実施状況	実施内容	実施	期間	H30年度実績	実施状
		关心内谷	着手	完了	П30千及天根	关旭1人次	天	着手	完了	T30年及天根	关旭认为	天旭內谷	着手	完了	一00年及天根	关旭仏儿	天旭四谷	着手	完了	N30平及天限	关旭1人
(3)	防災教育や防災知識の普及																				
	①水災害に事前準備に関する問い 合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を検討	•H28年度	•H28年度	・建設部や関係各課と連絡を 執って窓口を設置 ・HPの拡充(関係機関の情報を リンク)		・問い合わせ窓口を設置する	•H28年度	•H28年度	・総務課危機管理室を窓口とした。	•	・設置について検討する	•H28年度	・H32年度 担当	当部署や体制について検討	0	・設置について検討する	•H29年度	•H32年度	・設置について検討	0
	②水防災に関する説明会の開催	・実施について検討	•H28年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施について検討する	•H28年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継続 (H28常陸川水門現地見学会に 参加) ・茨城県住民避難力強化事業 を実施	=	・水防訓練を五月に実施	•H28年度	・H32年度 · 水	防訓練を五月に実施	0	・実施について検討する	•H28年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継約 (H28常陸川水門現地見学会 参加)	
	③教員を対象とした講習会の実施	•講習会等を検討	•H29年度	•H32年度	・地域と学校が連携した防災教育事業内で実施	0	・実施について検討する	•H29年度	•H32年度	- 教員等へ講習会を検討	0	・毎年実施する総合防災訓練 時に教育施設を避難場所に指 定し、実施を検討	•H28年度		員等へどう訓練に参加して か検討	ŧ o	・小中学校が浸水想定区域外				
	④小学生を対象とした防災教育の 実施	・実施について検討	•H29年度	•H32年度	・学校避難訓練、引き渡し訓練 等に合わせて継続実施	0	・実施について検討する	•H29年度	•H32年度	・小学生向けに配布する防災ララシを検討	f O	・毎年実施する総合防災訓練 時に教育施設を避難場所に指 定し、実施を検討	•H28年度		学校等に防災訓練のチラシ 己布	0	・実施について検討する	•H29年度	•H32年度	・美浦村防災訓練時に校舎を 用して避難訓練を実施(小学: 参加)	
	⑤出前講座等を活用した講習会の 実施																				
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報 発信	・情報入手方法などの周知	•H28年度	•H32年度	・行方エリアテレビで周知を検 討	0	・情報入手方法などの周知	•H29年度	•H32年度	・情報媒体について検討	0	•検討中	•H28年度	・H32年度 情幸	服媒体について検討	0	・情報入手方法などの周知を検 討する	•H28年度	•H32年度	・入手方法について内部検討	1 0
	⑦水位計やライブカメラ等の情報を リアルタイムで提供	-市HPの防災情報内で河川事 務所、川の防災情報等のリンク を作成	•H28年度	•H28年度	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・関係機関のリンクを貼るなど、ホームページなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する	5	•H30年度	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・関係機関などのリンクをホームページに記載する	•H28年度		の防災情報・水位情報等・ リンクを作成	•	・村の防災Webにて、川の防災 情報等のリンクを付し、情報提 供を行う	•H28年度	•H28年度	・村の防災Webにて、川の防災 情報等のリンクを付し、情報提供を行った	
	⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・実施について検討	•H29年度	•H32年度	・河川管理者(国交省)との共同 点検等を利用し、実施を検討	0	・国、県と連携し支援をする	•H28年度	•H32年度	・実施方法等について内部検討	it O	・検討する	•H28年度	·H32年度 ·実	施内容について内部検討	0	・検討する	•H29年度	•H32年度	・実施方法等について内部検	th O
 ノフト対	 :策の主な取組 ②洪水氾濫に	 よる被害の軽減、避難時	- :間の確保	 の <i>t-</i> めの:	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																
			12,00 12 17	1	114911 20 00 0 1 NIT																
(1)	より効果的な水防活動の実施 「		.山20年度	・ロック年度	・災害時優先携帯等を用い訓練	0	. 水吐訓練に併せた凌訓練太月	主。120年度	.山20年度	・デジタル簡易無線機で伝達訓	11 0	・水防訓練時に実施	. 山20 年度	.山20年度 .北	防訓練時に実施	0	・既に、村の防災訓練に併せ伝	・口20年度	.U20年度	- U20 0 25階((プレ)計(値太5	実の
	①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施				を実施		施する	关 - 口29 年及	- 円32年度	練を実施		・小切訓練時に美胞					達訓練を実施している			施	
	②水防団同士の連絡体制の確保	・双方向通信機を配備し、マ ニュアル作成済み	•H28年度	·H28年度	・簡易無線機を各部に配備し、 要領を作成、配布済み	•	・連絡体制を確保する	・H28年度	・H32年度	・デジタル簡易無線機を配備	•	検討する	•H28年度	·H32年度 ·連 検፤	絡体制や連絡方法につい †	τ Ο	・連絡体制確保の検討	•H28年度	*H32年度	・消防車両に無線機及び小型 無線機を配備	型 O
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同 点検	・河川事務所が実施する重要 水防箇所等の共同点検に参加。【H28年度~】	•H28年度	•H32年度	・区長や消防団員、地元住民と 共に危険箇所の合同点検に参 加	0	・河川事務所が実施する重要 水防箇所等の共同点検に参加 する		·H32年度	・河川事務所が実施する共同 点検に参加	0	・河川事務所が実施する共同 点検に消防団等とともに参加	•H28年度		川事務所が実施する共同 食に消防団等とともに参加		・河川事務所が実施する重要 水防箇所等の共同点検に参加 する	•H28年度	•H32年度	・河川事務所が実施する合同点検に参加	i O
		・利根川水系連合水防演習に	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・利根川水系連合水防演習に	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	ħ Δ	・水防訓練を5月に実施	•H28年度	•H32年度 •水	防訓練を5月に実施	0	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3	·H28年度	•H32年度	•H30.6.16 合同訓練実施	0
	④関係機関が連携した実働水防訓 練の実施	参加する ・水防訓練の実施	•H29年度	•H32年度	・消防夏季訓練の際に水防訓	0	参加する										市町村で合同の水防訓練を実 施している				
	⑤水防活動の担い手となる水防協 力団体の募集・指定を促進	・募集を検討	•H28年度	•H32年度	練を実施・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・広報誌やホームページ等で募集していく	- H29年度	・H32年度	 ・広報誌やホームページ等で多 集	· O	・自主防災組織の活動促進	•H28年度	・H32年度 ・設	立のための準備会に出席	0	・広報誌やホームページ等で募 集を検討する	•H29年度	・H32年度	・水防団を兼務する消防団員 加入促進を実施し、団員を募	
	⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築	・実施を検討	•H28年度	•H28年度	・災害時における資機材のリース協定や市内建設業者と連携 済み	•	・災害協定締結済み	•H19年度	•H19年度		•	・検討する	•H28年度	·H32年度 ·支 討	援が可能か協定の確認・	¢ Ο	・実施を検討する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた内部検討	0
	⑦内水被害危険箇所の把握及び 情報共有	・消防団と情報共有、点検を行う	•H28年度	•H32年度	・消防団や対象地区住民と合同 点検を実施	0	・水防団等と情報共有, 点検に努める	- H28年度	•H32年度	・各水防団で点検を実施	0	・水防団等と情報共有, 点検に 努める	•H28年度	・H32年度 ・水	防団等と情報共有, 点検	0	·水防団等と情報共有及び点検 等の検討	•H28年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	続 △
/J. 54	│ 策の主な取組 ③一刻も早い	 生活再建功1/14 全级12	上	しまる しょう	オスためのは水洋動の型	<u></u>															+
			u 300マノ巴12	x c 리타C	・ ア・ロバニはハンフォナハハロ 当月リノ月以	ma .		1	+												
(1)	排水計画(案)の作成及び排水 「		1,005==	1100 ===	7本5几台7 从、2015年1711年1844		14-1/12\ = 0.50.00 Mag. 10	1 1100 F =	1100-	機関佐田さしのはおりよう。	h -	明 万 映画 本 北 北 北 元 本 元 元 元 元 元 元 元 元	1 1100 ===	1100 ==================================	*E#0 ***	tra C	14-ul, 45-50, 66-12-6-1-1-1-1	1100 ===	1100 5		
	①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成	水ポンプ設置箇所の選定まで を行った排水計画(客)を作成	F •H28年度	•H32年度	・建設部や消防団と協議し、排 水ポンプ設置箇所を選定済み。 排水計画(案)の作成に向けた 検討を実施	0	・排水ポンプの設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)を作 成する	E -H29年度	•H32年度	・機場管理者との情報共有、排水計画の検討	₽	・関係機関との排水施設の情報 共有	(· H28年度	・H32年度 ・排 検記		部〇	・排水施設等が無いが、検討する	•H30年度	•H32年度		
	②排水訓練の実施	- 防災訓練等で実施	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災訓練と合同で実施する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	・防災訓練での実施を検討	•H28年度		災訓練内での実施方法に 「検討	0	・村の防災訓練と合同で実施するよう検討する	·H30年度	·H32年度		
	③内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	・建設部や関係機関と協議し排水ポンプ設置箇所の選定までを行った排水計画(案)を作成	+H28年度	•H32年度	・県河川管理者と協議の上、排水計画の検討を実施 ・土地改良区と連携を継続	0	・排水ポンプ等の設置箇所の選定まで行った排水計画(案)の 作成		•H32年度	・排水計画(案)について内部検討	0	・検討する	•H28年度	•H32年度 •排	水計画について内部検討	0	・検討する	•H30年度	·H32年度		

			阿見町					河内町					利根町					香取市		
頁目 事項 内容	実施内容		を期間 □ 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		期間	H30年度実績	実施状況	実施内容		E期間 │ 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		施期間 │ 完了	H30年度実績	実施状
ハード対策の主な取組																				
(1)洪水を河川内で安全に流す対	 策																			
①堤防整備																				
②波浪対策																				
(2)避難行動、水防活動、排水活動	計に答する其般等の整備																			#
①雨量・水位等の観測データ及び 洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	がに戻り の空血 サン 正開																			
	・同報系、移動系(デジタル式) 無線は整備済 ・町主要施設、企業、土砂災害 警戒反域内の世帯(希望者) へ、戸別受信機を設置済 ・難聴エリアへの増設等を検討 する	•H28年度	•H28年度		-	・防災無線のデジタル化	•H30年度	•H32年度			・防災無線(同報系)のデジタル 化実施設計(H28年度) ・防災無線(同報系)デジタル化 工事					・防災無線が聴き取りずらい世帯に対し戸別受信機の貸与を進める	•H28年度		・市町合併以前から、貸与は実施しており現在も継続中。特に 浸水想定区域にある要配慮者 施設へ積極的な配布を実施	:
③水防活動を支援するための新技 術を活用した水防資機材等の配備	・稲敷広域消防本部と連携を図 りながら検討する	-H28年度	•H28年度	・消防団員用安全管理資機材 (ライフジャケット)配備済	•	・資機材の充実を検討する。	•H28年度	・H32年度	・導入資材の選定について検討	0	・水防団員の安全を図る資機材の充実	・H29年度	•H32年度	・水防団(消防団)の安全を確保するための資機材を整備	0	・新技術を活用したものではないが、基本的な水防資機材は 配備している	•H28年度	•H28年度	・新技術を活用したものではないが、基本的な水防資機材は 配備済	
④水位計や量水標、CCTVカメラ等 の設置	検討する	•H28年度	•H28年度	・国や県が設置している既存の 設備を活用する(新たな設置 は予定していない)	•											・利根川以北が対象となる事から、横利根川の水位データを市のホームページにリンク貼り付けをする	•H28年度	•H28年度	・川の防災情報へのリンク済み	+ •
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家 発電装置等の耐水化	•庁舎は浸水想定区域外					・霞ヶ浦流域の浸水想定では対策を要しない。					・庁舎は浸水想定区域外で自 家発電装置有り						·H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	ξ Δ
⑥内水被害危険箇所の対策	・災害協定を締結している事業 所の協力を得る	•H26年度	・H26年度	・レンタル機材等の協力に関す る協定の締結済	•	- 資材の配備拡充	·H30年度	•H32年度								・浸水実績図の作成を行う	•H28年度		・内水ハザードマップを配布し 啓発を行っており、災害時の巡 視を実施	<u>«</u>
					<u>'</u>												<u>'</u>			
目 事項 内容	 実施内容		阿見町 ・期間	 H30年度実績	実施状況	型 実施内容		河内町	H30年度実績	実施状況	実施内容		利根町	H30年度実績	実施状況	実施内容		香取市	 H30年度実績	実施状
 ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼ			完了		7425745	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u></u> 看手	完了		700000	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> 清手</u>	完了	1100 1250,120	71,0001,00	J. 10	<u> </u>	完了	1100 1250112	
(1)広域避難を考慮したハザードマ) 到() / こ()															+		+
(1) 仏域避無を考慮したパサート	(ツノのTF成・周和寺																			_
①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表																				
②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表																				
③広域避難計画の策定	・協議会の中で、広域避難計画 (案)を策定する・稲敷広域圏内市町村で検討			・稲敷広域圏市町村で広域避 難計画を検討中 ・災害時相互応援協定の締結		・隣接市町村との協定締結	•H28年度	•H28年度	・H29.1稲敷地方広域市町村事 務組合構成7市町村にて相互 応援協定締結	•	・稲敷広域組合構成市町村で 検討開始	•H28年度	•H28年度	・稲敷広域組合構成市町村により災害時相互応援協定(広域避 難含む)を締結	•	・隣接自治体との協定締結など 事前の調整を図った上で、広域 避難計画を策定する	•H28年度		・協定市間(稲敷市、潮来市、神栖市)において広域避難所(7箇所)を設定した。計画で 定に向け、引き続き協議を進める。 ・H31.124 協定市間で計画策定への問題が 抽出のため、DIG訓練を実施した。	ж.
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・広域避難計画策定後、広域避難を考慮したハザードマップの 策定を検討する		•H32年度	・策定に向けた内部検討 ・想定最大規模降雨における浸水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月)		・利根川下流管内の洪水浸水 想定区域図の公表後検討を行う	•H30年度	•H32年度	・策定に向けた内部検討	0	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	•H30年度	•H30年度	・防災の手引き及びハザードマップを作成し、防災の手引きの中にはマイタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る	•	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、新たな洪水ハザードマップを策定する			・想定最大規模降雨における洪水を対象とたハザードマップを作成するため、仕様等の 調整を行うた。 ・H30年度に想定最大規模降雨における洪 水を対象としたハザードマップを作成した。 翌年度に配布周知を図る予定。	⁷⁰
⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、整備に向けて検討する	-H28年度	・H32年度	・整備に向けた内部検討	Δ	・利根川下流管内の洪水浸水 想定区域図の公表後、整備に 向けて検討する。	・H30年度	•H32年度	・整備に向けた内部検討	0	・洪水浸水総地図の公表後、設 置に向けた検討を行う	·H29年度	•H32年度	・避難所、避難場所の案内看板を設置・浸水想定深の表示看板については、今後検討	0	・避難所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置 を検討する	•H29年度	•H32年度	・市内の一部に設置済である が、拡充について検討中。	0
⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進	・避難訓練等を支援する	•H28年度	•H32年度	・支援に向けた内部検討 ・県主催で要配慮者施設管理 者等へ避難確保計画の説明を 開催(H31.2月)	0	・避難訓練等を支援する。	•H30年度	•H32年度	・支援に向けた内部検討	0	・避難訓練等を支援する	•H29年度	•H32年度	·要配慮者利用施設の避難計 画の作成及び訓練実施を促進 する	0	・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	·H28年度	•H32年度	・計画作成の概要、作成例等を市ホームページに掲載し、作成支援を行った。また計画末作成施設へ作成依頼 の通知を行った。	
(2)避難勧告の発令に着目したター	 イムラインの作成																			
①避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・タイムラインを策定する	•H28年度	•H28年度	・水害タイムライン策定済	•	・チェックリストの作成	•H28年度	•H28年度	・チェックリスト作成済み	•	・避難に着目した利根川・小貝 川洪水タイムラインを策定し、 随時見直しを図る。	•H28年度	•H29年度	・利根川・小貝川に対応したタイムラインを作成済み。	•	・タイムラインの策定:見直しを 行う	•H28年度		・作成中、広域避難協定市との 調整を今後更に行う) C
②タイムラインに基づく首長も参加 した実践的な訓練	・実践的な訓練を実施する	•H29年度	•H32年度	・タイムラインに基づく実践的な 訓練手法等について検討	0	・震災対応訓練が町内全域で 完了したあとに、水害を想定し た訓練を行う。	•H30年度	•H32年度	・実施に向けた内部検討	0	・実践的な訓練について検討する	•H29年度	•H32年度	・実践的な訓練の実施を検討する	0	・震災に対する訓練のみであったため、隔年で水災害対象の 訓練を実施するなど検討する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	t 🛆
③気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善 (水害時の情報入手のし易さをサポート)																				

			阿見町	•				河内町			0.54,000,11	, , ,	利根町	の 下で 日 七 / 、		メラルログとルを形に、 ハ・天池に		香取市	/: 対象がよたは101千尺	
項目事項	内容	実施内容	実施期間 着手 完了	H30年度実績	実施状況	! 実施内容		期間 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		期間 完了	H30年度実績	実施状況	実施内容		期間	H30年度実績	実施状法
(3)[3]	坊災教育や防災知識の普及																			
	①水災害に事前準備に関する問い 合わせ窓口の設置	・設置について検討する	・H28年度 ・H28年度	・防災危機管理課、道路公園課で対応している	•	・設置について検討する	•H31年度	•H32年度			・水災害に関する問い合わせ窓 口を設置	•H29年度	•H29年度	・総務課担当課において問合せ に対応	•	・水災害に関連する担当課が連携を執って、問い合わせ窓口を 設置している	•H28年度	•H28年度	・水災害に関連する担当課が連携を執って、問い合わせ窓口を 設置済。	
	②水防災に関する説明会の開催	・実施について検討する	・H28年度 ・H32年度	・開催に向けた内部検討	Δ	・開催について検討する	•H28年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る	•H28年度	•H32年度	・町の出前講座を実施し、ハ ザードマップや災害情報の収集 方法等について説明	0	・自治会等への出前講座による 周知を図る	•H28年度	•H32年度	・自治会等からの要請により実施している	0
	③教員を対象とした講習会の実施	・教育委員会と連携して検討していく	・H28年度 ・H32年度	・実施に向けた内部検討	Δ	・実施について検討する	•H31年度	•H32年度			・実施について検討する	•H29年度	•H32年度	・町教育委員会と調整し、実施 について検討する	0	・洪水ハザードマップにより、浸水範囲の再確認、学校での水 災害における避難体制の整備 について促進する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ
	④小学生を対象とした防災教育の 実施	・教育委員会と連携して検討していく	・H28年度 ・H32年度	・実施に向けた内部検討	Δ	・実施について検討する	•H31年度	•H32年度			・小学校で防災講習会を実施	•H29年度	•H32年度	・町内小学校1校で、ハザードマップを使用し、防災講習会を実施	0	・水防災意識の向上のため、啓 発資料等の作成について検討 する	•H29年度	•H32年度	・H30.11.17 小学生を対象に水防に関する出前講座を実施。	0
	⑤出前講座等を活用した講習会の実施																			
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報 発信		・H28年度 ・H28年度	・防災行政無線、メール配信、 ホームページによる配信 ・メール配信登録の啓発	•	・情報入手方法などの周知について検討する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ						・情報入手方法等を、再度周知する	•H28年度	•H32年度	・広報紙及びHPで周知している	5 0
	⑦水位計やライブカメラ等の情報を リアルタイムで提供	・HPで川の情報のリンクを付し、情報提供を行う	・H28年度 ・H29年度	・町HPの防災情報へ霞ヶ浦河 川事務所のHPをリンクし、ライ ブ映像や水位計を閲覧できるよ うにした。	•											・市のホームページに、リンクの 貼り付けをする	•H28年度	H32年度	・市のホームページに、リンクの 貼り付けており、そのリンク先の 更新状況を確認した。	0
	®許可工作物管理者への防災教育の実施	・検討する	・H28年度 ・H29年度	・町HPの防災情報へ霞ヶ浦河 川事務所のHPをリンクし、ライ ブ映像や水位計を閲覧できるよ うにした。	•											・履行検査時において周知を行う	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ
ソフト対:	⊥ 策の主な取組 ②洪水氾濫に	L よる被害の軽減、避難時	└────────────────────────────────────	1																+
			INJUSTICE PROSTESS	**************************************																+
(I)a	にり効果的な水防活動の実施 「		. 山20年度 . 山20年度	・消防団が水防団を兼務し連絡	0	・伝達訓練の実施	.山20年度	•⊔22年度	・通信訓練として毎年実施して	0	・北欧田への連絡は制の辞保	.山20年度	.山20年度	・消防団が水防団を兼務してお	0	・国の情報伝達訓練に合わせ	・口20年度	.山20年度	- U20 5 11の国の情報仁達訓練	ŧ O
	①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施	行う	- 1720年度 - 1732年度	体制は火災対応や訓練で実施している		「仏廷副林の大ル	7月20千及	-1132年及	一通信別様として毎年天地している		- 小侧凹、00座桁件制00框床	7月20年及	1132年度	7月前間が派別団と飛行とより り、防災無線(移動系)及び消 防団登録メールによる連絡体 制を取っている。伝達の確認や 実施については、日頃の訓練 や火災現場等で行っている		訓練を実施する	- 1120 平 及	- 1102年度	に合わせ訓練を継続して実施している	
	②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	・H28年度 ・H32年度	・消防団が水防団を兼務し連絡 体制は火災対応や訓練で実施 している ・消防団車両に無線機を配備	•	・連絡体制は確保済	•H28年度	•H32年度	・通信訓練の実施	0	・水防組合による会議・訓練に より連絡体制を確保している	•H28年度	•H32年度	・稲敷広域水防協議会により連絡体制を確保している	0	・水防団(消防団)連絡網(連絡 体制)は既に整っている	•H28年度	•H32年度	・水防団(消防団)連絡網(連絡体制)を整えており、H30.4.1現在の情報に更新した。	
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同 点検	・河川事務所が実施する重要 水防箇所等の共同点検に参加 する	・H28年度 ・H32年度	・河川事務所が実施する共同 点検へ参加。	0	・共同点検への参加	•H28年度	•H32年度	・利根川下流管内での共同点 検に参加	0	・利根川区間の共同点検を実施している	•H28年度	•H32年度	・河川事務所が実施した合同点検に参加	0	・合同巡視の際に、地域住民の 参加を検討する	•H29年度	•H32年度	・地域住民へ合同巡視の参加 要請を検討中	0
	④関係機関が連携した実働水防訓 練の実施	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3 市町村で合同の水防訓練を実 施している	3 ·H28年度 ·H32年度	・水防訓練を実施	0	・実施について検討する。	•H28年度	•H32年度	・利根川下流管内にて実施	0	・水防組合による水防訓練に参加	•H28年度	•H32年度	・水防組合による合同水防訓練に参加	0	・毎年度、実施している	•H28年度	•H32年度	・H30.5.27 水防実技研修会を実施した	0
	⑤水防活動の担い手となる水防協 力団体の募集・指定を促進		・H28年度 ・H32年度	・広報誌やHP、地区ごとの呼び 掛けを実施	0	・募集・指定の促進について検 討する	•H31年度	•H32年度			・促進について検討する	•H29年度	•H32年度	・水防協力団体の募集・指定を 検討する	0	・水防に関し広報紙により募集・ 指定の促進を図っている	•H28年度	•H32年度	・香取広域消防本部の消防団 員募集に合わせてホームペー ジにて募集を実施した。	
	⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築		·H19年度 ·H19年度 ·H22年度 ·H22年度	E ・町内建設業組合等との災害協 定締結済	•	・水防支援体制について検討する。	•H31年度	•H32年度			・町建設業協会と災害協定を締結し支援体制を確立している	•H28年度	•H29年度	・町建設業協会と災害協定を締結し支援体制を確立している	•	・実施を検討する	•H28年度	•H28年度	・建設業協会と「地震・風水害。 その他の災害応急対策業務協 定」を締結した	
	⑦内水被害危険箇所の把握及び 情報共有		・H29年度 ・H32年度	・担当課において点検を実施。 ・災害時は危険箇所の点検を 行い情報を共有している	0						・把握および情報共有を行う	•H29年度	•H32年度	・危険箇所の把握・情報共有を 検討する	0	・浸水実績図の作成を検討する	•H29年度	·H29年度	・内水ハザードマップを配布し 啓発を実施。	•
' . ソフト対 [*]	⊥ 策の主な取組 ③一刻も早い	 生活再建及び社会経済活	 f動の回復を可能と	 -するための排水活動の取:	· 組															†
	非水計画(案)の作成及び排水									+			1							+-
(1)15		・関係機関と情報を共有して検	・H29年度 ・H32年度	・実施に向けた内部検討	Δ											・排水ポンプの設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)の作 成を検討する	•H29年度	・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	ĒΔ
	②排水訓練の実施	・水防訓練時での実施を検討していく	・H29年度 ・H32年度	・実施に向けた内部検討	Δ											・防災訓練と合同で実施するよう検討する	•H29年度	•H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	ĒΔ
	③内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	・関係機関と情報を共有して検討していく	・H29年度 ・H32年度	・実施に向けた内部検討	Δ											・内水被害危険箇所の排水計 画(案)の作成を検討する	•H29年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ

-= m	-t	.	11			ツ <u>争務和宣 </u>	
垻日	事項	内容	実施内容	美施 着手	期間 完了	H30年度実績	実施状況
1 1		策の主な取組		相丁	76.1		
1. / \							
	(1)決 	は水を河川内で安全に流す対:	策 ————————————————————————————————————				
		⊘ (Bat+t-W					
		①堤防整備					
		②波浪対策					
	(2)遏	É難行動、水防活動、排水活 動	かに資する基盤等の整備				
		①雨量・水位等の観測データ及び					
		洪水時の状況を把握·伝達するため の基盤の整備					
		の金皿の正開					
		②防災行政無線の改良、防災ラジ オ等の配布					
		_					
		③水防活動を支援するための新技 術を活用した水防資機材等の配備					
		11, 2, 11, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10					
		④水位計や量水標、CCTVカメラ等					
		の設置					
		⑤浸水時においても災害対応を継					
		続するための施設の整備及び自家					
		発電装置等の耐水化					
		○カル神宗を除在する と 体					
		⑥内水被害危険箇所の対策					
					阿見町		
項目	事項	内容	実施内容		期間	H30年度実績	実施状況
				着手	完了		JC#6 000
2. ソ	フト対象	策の主な取組 ①逃げ遅れゼ	口に向けた迅速かつ的確	な避難行	動のため	の取組	
	(1)戊	「域避難を考慮したハザードマ	ア ップの作成・周知等				
		A-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1					
		①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表					
		②想定最大規模降雨による氾濫					
		シュミュレーションの公表					
		③広域避難計画の策定					
		④広域避難を考慮したハザードマッ					
		プの作成・周知等					
		⑤まるごとまちごとハザードマップ整 備・拡充					
		⑥要配慮者利用施設の避難計画の					
		作成及び訓練の促進					
	(2)温	 難勧告の発令に着目したタイ	(ムラインの作成				
	\ <u>~</u> /@	エテ症はロッ元 川に旧口したブ	ー ノ フロ				
		①避難勧告の発令に着目したタイ					
		ムラインの作成					
		@h//= /> /-+ ->/+= / 4.					
		②タイムラインに基づく首長も参加 した実践的な訓練					
		③気象情報発信時の「危険度の色 分け」や「警報級の現象」等の改善					
		(水害時の情報入手のし易さをサポート)					
		,					



項目	事項	内容		<mark>≅敷地方広域市町</mark> ₹ │ 実施期間		阿事務組合	
タロ			実施内容	<u></u>	期间 一完了	H30年度実績	実施状況
	(3)[3	└────── 5災教育や防災知識の普及		78 7	76.1		
	(- / 1/	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
		①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置					
		②水防災に関する説明会の開催					
		(C) 小树 火 1 C 展 5 · O 配 5 五 0 所 座					
		③教員を対象とした講習会の実施					
		④小学生を対象とした防災教育の 実施					
		⑤出前講座等を活用した講習会の					
		実施					
		⑥プッシュ型の洪水予報等の情報					
		発信					
		⑦水位計やライブカメラ等の情報を リアルタイムで提供					
		8許可工作物管理者への防災教育					
		の実施					
2. ソ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				のための	 水防活動の取組	
	(1) d		 及び水防体制の強化				
		①水防団等への連絡体制の再確認 と伝達訓練の実施					
		②水防団同士の連絡体制の確保					
		0.7,17,217,22,1211,17,77,12,11					
		③水防団や地域住民が参加する洪	・共同点検に消防本部として参加	•H28年度	•H32年度	・河川事務所が実施する重要水 防箇所等の共同点検に消防本	0
		水に対しリスクが高い区間の共同 点検				部が参加する	
				•H28年度	•H32年度	・美浦村、稲敷市、阿見町3市町	0
		④関係機関が連携した実働水防訓 練の実施	実施			村で合同の水防訓練に消防本 部が参加する	
		⑤水防活動の担い手となる水防協					
		力団体の募集・指定を促進					
		⑥地域の建設業者による水防支援					
		体制の検討・構築					
		⑦内水被害危険箇所の把握及び情 報共有					
2. ソ	フト対:	策の主な取組 ③一刻も早い	生活再建及び社会経済活	動の回復	を可能と	:するための排水活動の取 -	:組
	(1)排	非水計画(案)の作成及び排水	く訓練の実施				
		①排水機場・樋門・水門等の情報共					
		有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成					
		②排水訓練の実施					
		③内水被害危険箇所の排水計画					
		(案)の作成					
		•					

